

主要農作物品種審査会

日 時：令和5年2月8日（水）
午前10時から午前11時30分まで
会 場：県行政庁舎4階 特別会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 報告及び協議

(1) 水 稲

イ 報 告

令和4年度水稻優良品種決定調査成績

資料1

ロ 協 議

令和5年度優良品種決定調査に供する品種（稲）について

資料2

(2) 大 豆

イ 報 告

令和4年度大豆優良品種決定調査成績

資料3

ロ 協 議

令和5年度優良品種決定調査に供する品種（大豆）について

資料4

(3) その他

5 閉 会

■配付資料

資料1 水稻 報告事項 令和4年度水稻優良品種決定調査成績

資料2 水稻 審議事項

資料3 大豆 報告事項 令和4年度大豆優良品種決定調査成績

資料4 大豆 審議事項

資料5 参考資料

出席者名簿

【委員】

役職	氏名	所属及び職名	出欠
会長	本間 香貴	東北大学大学院農学研究科 教授	出席
副会長	阿部 茂	全国農業協同組合連合会宮城県本部 米穀部長	出席
副会長	高橋 久則	公益社団法人みやぎ農業振興公社 常務理事	出席
委員	大川 亘	尚絅学院大学総合人間科学系 准教授	出席
委員	鳥羽 大陽	宮城大学食産業学群 教授	出席
委員	高橋 清範	一般社団法人宮城県農業会議 副会長	出席
委員	加藤 房子	宮城県生活協同組合連合会 常務理事	出席
委員	大崎 早苗	宮城県農業士会 副会長	出席
委員	小粥 恵子	仙台市経済局農業振興課 課長	出席
委員	高澤 和寿	宮城県農政部 副部長（技術担当）	出席

【幹事】

役職	氏名	所属及び職名
幹事	千葉 啓嗣	宮城県農政部 みやぎ米推進課長
幹事	八巻 智	宮城県農政部食産業振興課 総括課長補佐
幹事	佐々木都彦	宮城県古川農業試験場 作物育種部長

【事務局等】

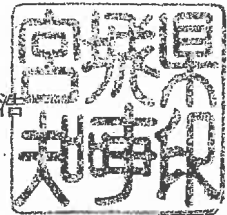
役職	氏名	所属及び職名
幹事代理	添田 哲男	農業振興課 普及支援班 技術補佐（班長）
助言者	西條 和彦	宮城県古川農業試験場 作物育種部 原種生産チーム 主任研究員
事務局	島津 裕雄	宮城県古川農業試験場 作物育種部 品質評価チーム 主任研究員
事務局	佐藤 淳	みやぎ米推進課 技術副参事兼総括課長補佐
事務局	大村 雄一	みやぎ米推進課 生産販売班 技術補佐（班長）
事務局	足立 陽子	みやぎ米推進課生産販売班 技術主幹（副班長）
事務局	増田 秀平	みやぎ米推進課生産販売班 技術主査（副班長）
事務局	石森 裕貴	みやぎ米推進課生産販売班 技術主査
事務局	阿部 脩平	みやぎ米推進課生産販売班 技術主査



みやぎ米第531号
令和5年1月30日

主要農作物品種審査会会長 殿

宮城県知事 村井 嘉浩



優良品種の指定等について（諮問）

このことについて、主要農作物種子条例（令和元年宮城県条例第59号）第18条の規定により、貴会の意見を求めます。

記

諮問内容

- （1）令和5年度優良品種決定調査に供する品種（稲）について
- （2）令和5年度優良品種決定調査に供する品種（大豆）について

担当 農政部みやぎ米推進課
生産販売班 足立

TEL：022-211-2841 FAX：022-211-2849

e-mail：adachi-yo632@pref.miyagi.lg.jp

水 稻
報 告 事 項

令和4年度水稻優良品種決定調査成績

令和4年度優良品種決定調査に供した品種（稲）について

種類	早晩性	基本調査		現地調査
		予備調査	本調査	
うるち	早生	奥羽449号 奥羽450号 (対)やまのしずく (比)あきたこまち	東北237号 (1) (対)やまのしずく (比)あきたこまち	東北237号 (1) (対)やまのしずく
	中生	岩手148号 東北241号 秋田130号 (対)ひとめぼれ (比)まなむすめ	東北233号 (3) 山形151号 (2) 岩手146号 (1) 福島64号 (1) 東北235号 (3) 東北236号 (1) (対)ひとめぼれ (比)まなむすめ	東北233号 (3) 山形151号 (2) 岩手146号 (1) 福島64号 (1) 東北235号 (3) 東北236号 (1) (対)ひとめぼれ
	晩生	東北242号 山形155号 (対)つや姫 (比)コシヒカリ	東北238号 (1) 東北239号 (1) (対)つや姫 (比)コシヒカリ	東北238号 (1) 東北239号 (1) (対)つや姫
酒造好適米	中生	福島酒67号 (対)蔵の華		
巨大胚	中生		東北胚232号 (3) (対)金のいぶき (比)ひとめぼれ	東北胚232号 (3) (対)金のいぶき
計		8	10	10

注1) (対), (比)はそれぞれ対照品種, 比較品種。

注2) 本調査及び現地調査の()内の数字は供試年数。

※優良品種決定基準については, 参考資料p1参照。

※優良品種決定調査方法については, 参考資料p5~p7参照。

表1 令和4年度水稻優良品種決定基本調査成績概要(本調査)

系統・品種名	調査年数 本現 調地 査	特性					出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m)	諸障害				aあたり				玄米重 対比 (%)	籾重 対比 (%)	千粒重 (g)	外観 品質	整粒 歩合 (%)	白未熟 粒比 (%)	食味官能		玄米 タンパク (乾物%)	有望度	概評(対照品種との比較)					
		育成地		場内(R3)		倒伏 成熟期 (0-400)						発病程度			全重 (kg)	精粗重 (kg)	玄米重 (kg)	籾米重 (kg)	1回目							2回目	長所			短所					
		耐倒 伏性	耐冷 性	耐病性(いもち) 遺伝子型	葉 緑							収量(%) ※下段 は多肥	品質 (1-9)	穂 揃																	穂 揃	穂 揃	穂 揃		
(早生)																																			
東北237号	1	1	やや強	強	Pii	かなり強	かなり強	104	3.3	(標肥)	7/30	9/8	78.4	18.6	471	0	無	微	少	少	153	78.6	61.2	2.8	99	116	24.2	4.8	68.6	13.0	-0.4	-0.4	6.6	打ち切り	・千粒重大きい。 ・白未熟粒多く、外観品質やや劣る。 ・食味やや劣る。
								-	-	(多肥)	7/29	9/8	79.3	18.5	505	0	無	微	少	無	153	81.0	61.7	3.6	103	123	23.9	4.7	64.6	11.8	-	-	6.4		
(対)やまのしずく	-	-	やや強	強	Pii	強	強	基準	4.8	(標肥)	7/29	9/8	87.5	18.7	530	0	無	微	少	無	155	78.4	61.8	1.9	基準	111	22.3	4.3	66.4	6.4	(基準)	(基準)	7.0		
(比)あきたこまち	-	-	やや弱	中	Pia,i	中	やや弱	98	3.8	(標肥)	7/29	9/8	92.5	18.9	504	93	無	微	少	少	154	72.8	56.9	2.2	92	101	22.2	4.3	62.4	6.1	-0.1	0.1	7.1		
(多肥)	-	-	やや弱	中	Pia,i	中	やや弱	101	4.2	(多肥)	7/30	9/8	92.6	18.7	516	57	微	微	少	少	155	74.3	57.7	2.4	97	101	21.9	4.0	64.7	5.1	-	-	6.7		
(中生～やや晩生)																																			
東北233号	3	3	中	強	+	かなり強	かなり強	101	4.3	(標肥)	8/6	9/20	89.1	19.1	518	70	無	微	少	少	170	82.5	62.4	4.1	117	104	22.7	4.3	69.8	6.9	0.0	-0.3	6.4	調査終了	・収量多い。 ・稈長同程度だが、倒伏上回る。
								102	3.8	(多肥)	8/5	9/15	88.6	18.8	528	13	無	無	少	少	163	77.2	58.0	4.0	106	102	22.4	4.3	71.1	5.3	-	-	6.0		
※高温登熟性“強”, P139																																			
東北235号	3	3	やや強	強	Pii	強	強	95	4.8	(標肥)	8/7	9/18	90.3	19.1	521	45	無	微	少	中	158	72.1	56.1	2.4	105	91	23.2	4.3	64.8	7.7	-0.2	-0.1	6.6	継続	・Cd低吸収性 ・千粒重やや大きく、収量やや優る。 ・熟期, 収量比の年次変動
								97	4.3	(多肥)	8/7	9/18	93.1	19.3	544	70	無	微	少	少	166	72.6	55.9	2.9	102	85	23.0	4.5	64.9	6.9	-	-	6.5		
※Cd低吸収性ひとめぼれ準同質遺伝子系統, pi21																																			
福島64号	1	1	やや強	かなり強	Pia,i	極強	中	100	3.8	(標肥)	8/9	9/19	95.2	18.7	502	27	無	無	少	少	173	77.8	59.7	2.8	112	87	23.6	3.3	72.8	3.3	-0.9**	0.1	6.5	継続	・千粒重やや大きく、収量優る。 ・白未熟粒少なく、外観品質やや優る。 ・熟期遅い(やや晩生クラス) ・稈長やや長い。
								-	-	(多肥)	8/8	9/17	93.9	18.1	535	43	無	微	少	少	167	74.4	56.9	3.0	104	87	23.3	4.0	73.5	3.2	-	-	6.2		
※高温登熟性“強”, P139																																			
岩手146号	1	1	やや強	強	Pia,i	かなり強	強	111	3.8	(標肥)	8/7	9/24	89.5	19.6	552	135	微	微	少	中	176	83.0	64.9	2.2	122	96	24.5	4.3	71.5	6.1	-0.4	-0.5*	6.5	打ち切り	・千粒重やや大きく、収量優る。 ・稈長同程度だが、倒伏上回る。 ・粘りやや劣り、食味やや劣る。
								-	-	(多肥)	8/7	9/22	90.1	19.9	570	157	無	無	少	中	178	81.0	63.7	2.0	117	92	24.1	4.7	70.7	6.5	-	-	6.3		
※Cd低吸収性ひとめぼれ準同質遺伝子系統, Pbi, qLTS3, Stvb-i																																			
東北236号	1	1	やや弱	かなり強	Pii	やや弱	強	101	3.8	(標肥)	8/8	9/22	92.1	19.4	485	75	無	微	少	少	163	73.0	55.9	3.0	105	90	22.7	4.7	58.4	13.1	0.6	-0.1	6.4	継続	・Cd低吸収性 ・収量やや優る。 ・熟期遅い(やや晩生クラス) ・稈長やや長く、倒伏上回る。 ・白未熟粒多く、外観品質やや劣る。
								-	-	(多肥)	8/8	9/22	94.3	19.5	509	133	微	微	少	少	171	73.9	56.4	3.1	103	83	22.6	5.0	57.6	11.6	-	-	6.5		
※Cd低吸収性ひとめぼれ準同質遺伝子系統, Pbi, qLTS3, Stvb-i																																			
山形151号	2	2	強	強	Pia,i,k	極強	強	103	3.8	(標肥)	8/8	9/24	84.7	20.5	435	82	無	微	少	少	171	82.6	63.6	2.6	119	100	23.8	4.8	60.5	8.9	0.5	-0.3	6.2	調査終了	・千粒重大きく、収量優る。 ・熟期遅い(やや晩生クラス) ・稈長やや短いが、倒伏上回る。 ・白未熟粒やや多く、外観品質やや劣る。
								112	4.2	(多肥)	8/8	9/23	86.1	19.7	454	158	無	微	少	少	171	81.5	63.3	2.5	116	100	23.6	4.5	58.9	7.8	-	-	6.0		
※Pbi																																			
(対)ひとめぼれ	-	-	やや強	強	Pii	やや弱	中	基準	3.7	(標肥)	8/4	9/15	88.3	19.3	534	8	無	微	少	少	154	69.7	53.2	2.8	基準	92	22.5	4.3	67.3	6.8	(基準)	(基準)	6.6		
(比)まなむすめ	-	-	やや強	強	Pii	中	強	96	4.0	(標肥)	8/2	9/12	84.5	19.6	454	0	無	微	少	少	149	70.0	55.1	2.0	103	100	24.7	4.0	78.8	4.0	-0.6*	-0.7**	6.4		
(比)げんきまる	-	-	やや強	強	Pii	中	強	104	4.2	(多肥)	8/1	9/12	85.6	19.9	487	0	無	無	少	無	159	73.6	58.0	2.1	106	93	24.4	3.8	78.3	3.9	-	-	6.5		
(比)げんきまる	-	-	やや強	強	Pib	-	-	96	4.0	(標肥)	8/8	9/22	88.2	20.5	362	2	無	微	少	少	164	78.9	62.1	1.8	117	99	24.2	4.0	72.6	3.9	-0.6	-0.8***	6.4		
(多肥)	-	-	やや強	強	Pib	-	-	-	-	(多肥)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
(晩生)																																			
東北238号	1	1	やや強	強	Pik-m	やや強	強	90	3.3	(標肥)	8/16	9/30	86.2	19.3	427	37	無	無	少	多	179	80.2	62.2	3.0	104	87	23.8	3.8	69.7	4.8	0.0	-0.5*	5.8	継続	・千粒重大きく、収量やや優る。 ・熟期やや遅い。 ・稈長同程度だが、倒伏上回る。 ・白未熟粒やや多く、外観品質やや劣る。
								-	-	(多肥)	8/16	10/1	86.2	18.9	440	177	無	無	少	多	179	79.1	61.4	3.1	101	86	23.9	3.7	64.0	5.1	-	-	5.6		
東北239号	1	1	中	かなり強	Pii	かなり強	かなり強	101	3.5	(標肥)	8/16	10/1	87.8	18.9	424	0	無	無	少	多	173	73.1	58.1	1.2	97	79	25.3	3.5	-	-	0.0	-0.2	6.2	継続	・やや低アミロース系統である。 (近赤値:つや姫とだて正夢の中間) ・千粒重かなり大きい。 ・食味は粘りある(だて正夢より弱い)。 ・熟期やや遅い。 ・穂数やや少なく、収量やや劣る。
								-	-	(多肥)	8/16	10/1	88.3	19.2	435	3	無	無	少	中	177	73.1	58.8	1.0	96	77	24.5	3.2	-	-	-	-	6.0		
※やや低アミロース系統 (Mxi-1)																																			
(対)つや姫	-	-	やや強	強	Pii,k	強	強	基準	3.8	(標肥)	8/13	9/27	84.8	17.7	461	0	無	無	少	中	167	76.3	59.8	2.4	基準	90	22.1	3.5	68.0	2.8	(基準)	(基準)	6.4		
(比)コシヒカリ	-	-	弱	強	+	弱	弱	95	3.7	(標肥)	8/15	9/28	105.9	18.5	450	280	無	微	少	中	171	72.6	54.7	4.2	91	78	22.0	3.7	64.2	4.7	-0.1	-0.3	6.3		
(比)だて正夢	-	-	やや強	強	Pib	-	-	93	3.8	(標肥)	8/7	9/20	90.0	19.9	417	0	無	微	少	少	162	75.3	58.7	1.9	98	92	21.2	3.5	-	-	0.4	-0.1	6.2		
(多肥)	-	-	やや強	強	Pib	-	-	-	-	(多肥)	8/6	9/18	90.9	19.5	419	0	無	無	少	無	161	73.9	57.4	2.0	94	91	20.4	4.2	-	-	-	-	6.1		

表2 「東北233号」優良品種決定調査基本調査成績（令和元年～令和4年）

栽培 条件	系統・品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	諸障害				全重 (kg)	a 当たり			玄米重 対比 (%)	籾わら 比 (%)	千粒重 (g)	外観 品質	整粒 歩合 (%)	白未熟 粒比 (%)	食味官能		たんぱく (乾物%)	有望度				
							倒伏 成熟期 (0-400)	発病程度				わら重 (kg)	精粒重 (kg)	玄米重 (kg)							屑米重 (kg)	1回目			2回目			
								葉い もち	穂い もち	紋枯 病																稲こ うじ		
標肥 東北233号	R1	8/4	1	9/18	2	74.5	16.4	486	0	無	無	無	多	142.0	71.2	68.4	55.1	0.7	98	96	22.1	5.5	83.0	7.3	-	-	6.9	△
	R2	8/11	2	9/14	0	83.7	18.0	480	18	無	無	少	多	157.4	76.4	78.0	60.5	1.9	99	102	21.2	3.2	85.2	4.6	0.2	-0.2	6.9	△
	R3	8/1	-1	9/13	-1	82.5	18.8	413	0	無	微	少	少	151.0	70.6	77.3	60.2	2.0	101	109	23.4	4.3	79.3	2.9	-0.1	-0.3	6.3	△
	R4	8/6	2	9/20	5	89.1	19.1	518	70	無	微	少	少	170.4	79.7	82.5	62.4	4.1	117	104	22.7	4.3	69.8	6.9	0.0	-0.3	6.4	×
	平均	8/6	1	9/16	2	82.4	18.1	474	22					155.2	74.5	76.6	59.6	2.2	104	103	22.3	4.3	79.3	5.4	0.0	-0.3	6.6	
ひとめぼれ	R1	8/3		9/16		73.4	17.2	528	0	無	無	無	多	144.0	71.0	70.2	56.2	1.0	(100)	99	20.9	6.0	71.3	13.4	-	-	7.3	
	R2	8/9		9/14		83.2	17.8	525	43	無	無	少	多	153.4	72.9	77.9	61.0	1.1	(100)	107	21.0	4.0	79.4	7.6	(基準)	(基準)	7.1	
	R3	8/2		9/14		82.4	18.5	472	2	少	微	少	無	153.8	74.9	75.5	59.5	1.6	(100)	101	22.5	3.7	74.0	4.4	(基準)	(基準)	6.5	
	R4	8/4		9/15		88.3	19.3	534	8	無	微	少	少	153.9	75.4	69.7	53.2	2.8	(100)	92	22.5	4.3	67.3	6.8	(基準)	(基準)	6.6	
	平均	8/5		9/15		81.8	18.2	515	13					151.3	73.5	73.3	57.5	1.6	(100)	100	21.7	4.5	73.0	8.0	(基準)	(基準)	6.9	
多肥 東北233号	R2	8/11	1	9/16	1	89.1	18.0	547	227	無	無	少	甚	171.0	83.8	83.1	62.9	2.8	106	99	20.8	3.8	80.2	3.5	-	-	7.5	
	R3	8/2	-1	9/16	-1	86.4	18.6	444	2	無	微	少	少	169.1	82.6	81.6	62.9	2.7	102	99	23.4	3.8	80.2	3.2	-	-	6.6	
	R4	8/5	2	9/15	1	88.6	18.8	528	13	無	無	少	少	162.7	75.4	77.2	58.0	4.0	106	102	22.4	4.3	71.1	5.3	-	-	6.0	
	平均	8/6	1	9/16	0	88.0	18.5	506	81					167.6	80.6	80.6	61.3	3.2	105	100	22.2	4.0	77.2	4.0	-	-	6.7	
	ひとめぼれ	R2	8/10		9/15		89.5	18.3	576	290	微	無	少	多	168.7	84.7	79.2	59.5	2.8	(100)	94	20.5	4.3	70.6	7.2	-	-	7.7
R3	8/3		9/17		88.6	18.7	504	110	少	微	少	無	166.0	81.5	79.7	61.7	2.5	(100)	98	22.7	4.2	73.7	5.8	-	-	6.9		
R4	8/3		9/14		89.6	18.9	550	40	微	微	少	少	159.9	79.1	71.5	54.7	3.0	(100)	90	22.4	4.3	67.0	7.0	-	-	6.4		
平均	8/5		9/15		89.2	18.6	543	147					164.9	81.8	76.8	58.6	2.8	(100)	94	21.9	4.3	70.4	6.7	-	-	7.0		

注1)倒伏は倒伏程度(0:無倒伏~4:完全倒伏)別の面積比率により、0~400で示した。発病程度は、発生予察事業の調査実施基準に準じた(ただし、「少」に達しない発病については、「微」とした)。

注2)玄米調製は篩目1.8mmで行い、水分は15%で換算した。

注3)外観品質は、上上~下下を1.0~9.0で示した。整粒歩合、白未熟粒比(乳白粒比、基部未熟粒比、背腹白未熟粒比の合計)はS社製穀粒判別器(RGQI100B)で測定した。

注4)食味は、不良~良を-3~+3で評価したものを対照品種との差で表した。パネラーは古川農業試験場職員。*:危険率5%、**:危険率1%。

表3 「東北235号」優良品種決定調査基本調査成績（令和2年～令和4年）

栽培 条件	系統・品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	諸障害				全重 (kg)	a 当たり			玄米重 対比 (%)	籾わら 比 (%)	千粒重 (g)	外観 品質	整粒 歩合 (%)	白未熟 粒比 (%)	食味官能		たんぱく (乾物%)	有望度				
							倒伏 成熟期 (0-400)	発病程度				わら重 (kg)	精粒重 (kg)	玄米重 (kg)							屑米重 (kg)	1回目			2回目			
								葉い もち	穂い もち	紋枯 病																稲こ うじ		
標肥 東北235号	R2	8/10	1	9/15	1	82.3	17.5	531	90	無	無	少	多	152.9	74.0	75.8	58.2	2.0	95	102	21.2	4.5	74.9	10.5	0.3	-0.3	7.0	△
	R3	8/2	0	9/13	-1	81.3	18.8	447	0	無	微	少	少	142.7	66.9	72.2	56.5	1.9	95	108	23.4	4.8	73.1	5.4	0.1	-0.3	6.7	△
	R4	8/7	3	9/18	3	90.3	19.1	521	45	無	微	少	中	157.9	79.1	72.1	56.1	2.4	105	91	23.2	4.3	64.8	7.7	-0.2	-0.1	6.6	△
	平均	8/6	1	9/15	1	84.6	18.5	500	45					151.1	73.3	73.3	56.9	2.1	99	101	22.6	4.6	70.9	7.8	0.1	-0.2	6.7	
	ひとめぼれ	R2	8/9		9/14		83.2	17.8	525	43	無	無	少	多	153.4	72.9	77.9	61.0	1.1	(100)	107	21.0	4.0	79.4	7.6	(基準)	(基準)	7.1
R3	8/2		9/14		82.4	18.5	472	2	少	微	少	無	153.8	74.9	75.5	59.5	1.6	(100)	101	22.5	3.7	74.0	4.4	(基準)	(基準)	6.5		
R4	8/4		9/15		88.3	19.3	534	8	無	微	少	少	153.9	75.4	69.7	53.2	2.8	(100)	92	22.5	4.3	67.3	6.8	(基準)	(基準)	6.5		
平均	8/5		9/14		84.6	18.5	510	18					153.7	74.4	74.4	57.9	1.8	(100)	100	22.0	4.0	73.6	6.3	(基準)	(基準)	6.7		
多肥 東北235号	R2	8/11	1	9/17	2	87.7	18.3	577	363	無	無	少	多	175.2	92.3	76.9	55.7	4.0	94	83	20.7	4.3	68.1	10.6	-	-	7.7	
	R3	8/2	-1	9/15	-2	87.4	18.8	472	57	無	微	少	無	162.0	79.8	77.6	60.1	2.4	97	97	23.6	4.3	73.5	6.6	-	-	6.9	
	R4	8/7	4	9/18	4	93.1	19.3	544	70	無	微	少	少	165.6	85.6	72.6	55.9	2.9	102	85	23.0	4.5	64.9	6.9	-	-		
	平均	8/7	1	9/17	1	89.4	18.8	531	163					167.6	85.9	75.7	57.2	3.1	98	88	22.4	4.4	68.8	8.0	-	-	7.3	
	ひとめぼれ	R2	8/10		9/15		89.5	18.3	576	290	微	無	少	多	168.7	84.7	79.2	59.5	2.8	(100)	94	20.5	4.3	70.6	7.2	-	-	7.7
R3	8/3		9/17		88.6	18.7	504	110	少	微	少	無	166.0	81.5	79.7	61.7	2.5	(100)	98	22.7	4.2	73.7	5.8	-	-	6.9		
R4	8/3		9/14		89.6	18.9	550	40	微	微	少	少	159.9	79.1	71.5	54.7	3.0	(100)	90	22.4	4.3	67.0	7.0	-	-			
平均	8/5		9/15		89.2	18.6	543	147					164.9	81.8	76.8	58.6	2.8	(100)	94	21.9	4.3	70.4	6.7	-	-	7.3		

注1)倒伏は倒伏程度(0:無倒伏~4:完全倒伏)別の面積比率により、0~400で示した。発病程度は、発生予察事業の調査実施基準に準じた(ただし、「少」に達しない発病については、「微」とした)。

注2)玄米調製は篩目1.8mmで行い、水分は15%で換算した。

注3)外観品質は、上上~下下を1.0~9.0で示した。整粒歩合、白未熟粒比(乳白粒比、基部未熟粒比、背腹白未熟粒比の合計)はS社製穀粒判別器(RGQI100B)で測定した。

注4)食味は、不良~良を-3~+3で評価したものを対照品種との差で表した。パネラーは古川農業試験場職員。*:危険率5%、**:危険率1%。

表4 「東北胚232号」優良品種決定調査基本調査成績(令和元年～令和4年)

栽培 条件	系統・品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	諸障害				a 当たり					玄米重 対比 (%)	籾わら 比 (%)	千粒重 (g)	外観 品質	整粒 歩合 (%)	白未熟 粒比 (%)	食味官能		有望度					
							倒伏 成熟期 (0-400)	発病程度			全重 (kg)	わら重 (kg)	精籾重 (kg)	玄米重 (kg) 篩目 1.8mm	屑米重 (kg) 篩目 1.8mm							1回目	2回目						
								葉い もち	穂い もち	紋枯 病															稲こ うじ				
標肥	東北胚232号	R1	8/4	-2	9/18	-3	70.8	17.1	488	0	少	無	無	無	150.0	77.3	69.1	55.1	0.4	110	89	21.0	6.5	-	-	-	-	7.1	△
		R2	8/10	-1	9/19	-2	77.1	19.0	460	17	無	無	少	多	164.4	87.3	73.3	56.9	0.5	102	84	19.4	3.8	-	-	-0.3	0.2	7.0	△
		R3	8/2	-2	9/14	-8	76.0	18.2	401	0	無	微	少	無	152.6	79.9	67.8	52.7	1.4	117	85	22.4	5.0	-	-	-0.1	0.6	6.7	△
		R4	8/6	-2	9/22	-5	82.0	18.9	463	37	無	微	少	少	164.4	83.3	74.9	59.3	1.0	114	90	21.6	5.2	-	-	-0.5	0.0	6.3	△
		平均	8/6	-2	9/18	-5	76.5	18.3	453	13					157.8	82.0	71.3	56.0	0.8	110	87	21.1	5.1	-	-	-0.3	0.3	6.8	
金のいぶき		R1	8/6		9/21		73.4	17.8	531	0	少	無	無	無	157.0	89.1	64.1	50.3	0.5	(100)	72	21.8	6.5	-	-	-	-	7.3	
		R2	8/11		9/21		81.2	19.6	512	0	少	無	少	多	171.5	93.9	72.9	56.0	0.6	(100)	78	20.2	3.3	-	-	(基準)	(基準)	7.1	
		R3	8/4		9/22		80.4	18.6	446	0	少	微	少	少	166.7	99.3	61.5	45.2	2.5	(100)	62	21.9	4.7	-	-	(基準)	(基準)	7.4	
		R4	8/8		9/27		84.9	20.6	504	2	無	微	少	中	169.9	94.9	67.0	52.0	1.2	(100)	71	22.6	4.7	-	-	(基準)	(基準)	6.6	
		平均	8/7		9/23		80.0	19.1	498	0					166.3	94.3	66.4	50.9	1.2	(100)	71	21.6	4.8	-	-	(基準)	(基準)	7.1	
多肥	東北胚232号	R2	8/11	-2	9/21	-1	82.6	18.9	514	370	無	無	少	甚	186.5	99.5	79.2	59.9	1.4	100	80	19.1	4.7	-	-	-	-	7.7	
		R3	8/2	-3	9/18	-6	83.9	18.2	479	25	無	微	少	少	179.5	95.1	78.0	60.8	1.6	118	82	22.3	4.7	-	-	-	-	6.9	
		R4	8/4	-3	9/20	-4	83.9	18.1	487	43	無	微	少	少	169.6	86.3	75.5	58.9	1.5	114	88	21.4	5.0	-	-	-	-	6.0	
		平均	8/6	-3	9/20	-4	83.5	18.4	493	146					178.5	93.6	77.6	59.9	1.5	111	83	20.9	4.8	-	-	-	-	6.9	
		金のいぶき	R2	8/13		9/22		87.4	19.6	566	300	無	無	少	甚	186.1	100.8	78.1	59.8	1.1	(100)	78	19.9	3.8	-	-	-	-	7.7
R3	8/5		9/24		88.0	18.6	519	40	少	少	少	少	186.1	108.5	70.0	51.6	2.8	(100)	64	21.8	4.5	-	-	-	-	7.4			
R4	8/7		9/24		85.9	20.7	532	67	少	微	少	中	168.1	92.7	67.0	51.6	1.5	(100)	72	22.1	4.0	-	-	-	-	6.3			
平均	8/8		9/23		87.1	19.6	539	136					180.1	100.7	71.7	54.3	1.8	(100)	71	21.3	4.1	-	-	-	-	7.1			

注1)倒伏は倒伏程度(0:無倒伏～4:完全倒伏)別の面積比率により、0～400で示した。発病程度は、発生予察事業の調査実施基準に準じた(ただし、「少」に達しない発病については、「微」とした)。

注2)玄米調製は篩目1.8mmで行い、水分は15%で換算した。

注3)外観品質は、上上～下下を1.0～9.0で示した。整粒歩合、白未熟粒比(乳白粒比、基部未熟粒比、背腹白未熟粒比の合計)はS社製穀粒判別器(RGQI100B)で測定した。

注4)食味は、不良～良を-3～+3で評価したものを対照品種との差で表した。パネラーは古川農業試験場職員。*:危険率5%、**:危険率1%。

表5 令和4年度水稻優良品種決定基本調査成績概要(予備調査)

系統・品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	諸障害			a 当たり					玄米重 対比 (%)	籾重比 (%)	千粒重 (g)	外観 品質	整粒 歩合 (%)	死米 粒比 (%)	白未熟 粒比 (%)	青・その他 未熟粒比 (%)	胴割 粒比 (%)	味度値	玄米 タンパク 質含有 率 (DM%)	有望度	概 評 (対照品種との比較)		
						倒伏 成熟期 (0-400)	葉いもち		全重 (kg)	わら重 (kg)	精糲重 (kg)	玄米重 篩目1.8mm (kg)	屑米重 篩目1.8mm (kg)													品質	長所等	短所
							発病 株率	発病度																				
(うるち種)																												
(早生)																												
奥羽449号	8/1	9/12	83.2	19.6	420	0	0.0	無	161	74.2	79.8	62.5	3.0	102	108	22.8	4.0	70.5	0.8	4.9	19.9	0.3	77.7	6.6	打ち 切り			対照品種に対する長所が認められないため打ち切り。
奥羽450号	7/31	9/12	77.2	18.1	488	0	0.0	無	148	71.7	80.6	63.0	3.0	103	93	22.1	4.0	65.1	1.4	7.3	22.7	0.4	81.6	6.5	継続			・収量がやや優る ・味度値がやや高い 収量がやや優り、味度値がやや高いため継続。
(対)やまのしずく	7/29	9/8	84.4	17.6	511	0	0.0	無	150	67.7	76.5	61.1	1.8	100	113	22.4	4.0	67.6	0.6	6.2	22.5	0.2	79.1	7.0				
(比)あきたこまち	8/1	9/14	91.5	18.8	480	70	0.0	無	154	73.7	72.2	57.0	2.1	93	98	22.2	3.5	69.4	0.5	4.9	21.4	0.4	79.8	7.1				
(中生)																												
岩手148号	8/3	9/14	89.1	19.3	472	0	0.0	無	159	75.8	76.0	61.8	1.6	112	100	25.1	3.5	67.9	1.3	6.4	19.0	1.6	77.4	6.7	継続			・収量が優る ・千粒重が大きい 外観品質が劣るが収量が優り、千粒重が大きいので継続。
東北241号	8/5	9/16	86.5	19.5	514	0	0.0	無	157	78.9	70.8	53.0	4.3	96	89	22.0	3.5	64.4	1.8	4.6	24.9	0.4	90.5	6.4	継続			・味度値が優る ・収量がやや劣る ・外観品質が劣る 収量がやや劣るが味度値が高いので継続。
秋田130号	8/6	9/17	90.5	20.3	480	0	0.0	無	151	72.2	70.7	51.9	4.2	94	98	22.3	3.5	65.2	2.1	4.8	23.7	0.3	84.9	6.7	打ち 切り			・収量が劣る ・外観品質が劣る 収量・品質とも劣るため打ち切り。
(対)ひとめぼれ	8/2	9/13	90.0	19.2	514	0	0.0	無	154	75.3	70.6	55.0	2.6	100	94	22.5	3.0	66.9	1.5	6.8	21.4	0.1	84.3	6.7				
(比)まなむすめ	8/1	9/11	86.6	19.4	460	0	0.0	無	150	70.9	69.3	55.1	2.0	100	98	24.7	3.0	76.3	0.7	4.1	15.2	0.3	84.4	6.7				
(晩生)																												
東北242号	8/14	10/2	88.1	19.0	481	0	4.0	少	170	88.8	75.1	62.0	1.3	106	85	26.2	2.5	76.7	0.9	5.7	13.7	0.1	92.7	6.2	継続			・収量が優る ・千粒重が大きい ・整粒歩合が高い 収量が優り、千粒重が大きく、整粒歩合が高いため継続。
山形155号	8/19	10/2	97.5	18.9	356	0	0.0	無	175	98.4	70.4	56.7	1.7	97	72	25.8	3.5	65.4	1.8	7.9	20.9	0.7	90.0	6.1	継続			・千粒重が大きい ・整粒歩合が高い 千粒重が大きく、整粒歩合が高いので継続。
(対)つや姫	8/13	9/27	85.8	18.2	410	75	0.0	無	121	83.5	73.2	58.6	2.7	100	88	22.5	2.5	61.4	0.3	3.2	31.3	0.5	86.6	6.5				
(比)コシヒカリ	8/15	9/26	103.5	18.2	430	395	0.0	無	176	96.3	72.8	56.7	3.9	97	76	22.3	2.5	61.9	0.5	3.7	30.7	0.1	85.8	6.2				

注1) 期待される特性は育成地のデータで示した。
 注2) 倒伏は、倒伏程度(0:無倒伏~4:完全倒伏)別の面積比率より、0~400で示した。
 注3) いもち病発生程度は発病株率及び発病度の無、少、中、多、甚で示した。
 注4) 玄米調製は篩目1.8mmで行い、水。
 注5) 外観品質は、上上~下下を1.0~9.0で示した。
 注6) 整粒歩合はS社製穀粒判別器(RGQI10B)、玄米タンパク質含有率はF社製近赤外成分測定装置(Infratec NOVA)、味度値はT社製マ味度メーター(MA90R2)で測定。

表6 令和4年度水稲優良品種決定現地調査成績概要(生育ステージ・収量品質)

品種・系統名		山間高冷	西部丘陵		北部平坦		南部平坦	三陸沿岸	仙台湾沿岸	
		七ヶ宿	泉	小野田	高清水	中田	角田	気仙沼	亘理	矢本
東北237号	出穂期	8/5								
	成熟期	9/20								
	収量(kg/a) 品質	65.2 5.0								
(対)やまのしずく	出穂期	8/3								
	成熟期	9/18								
	収量(kg/a) 品質	59.7 3.0								
東北233号	出穂期				8/8				8/8	
	成熟期				9/21				9/15	
	収量(kg/a) 品質				61.2 2.5				62.5 4.0	
福島64号	出穂期		8/2			8/15				
	成熟期		9/14			9/30				
	収量(kg/a) 品質		56.6 3.0			55.7 2.4				
山形151号	出穂期				8/10			8/15		
	成熟期				9/25			9/30		
	収量(kg/a) 品質				67.1 3.0			62.0 3.0		
岩手146号	出穂期		8/1					8/13		
	成熟期		9/17					9/28		
	収量(kg/a) 品質		66.5 3.0					66.7 3.0		
東北235号	出穂期		8/2	8/13	8/13	8/16	8/3	8/14	8/9	8/6
	成熟期		9/12	9/17	9/22	9/30	9/12	9/29	9/17	9/14
	収量(kg/a) 品質		54.3 3.5	45.2 2.0	53.3 3.5	61.6 2.7	44.5 5.0	60.2 3.0	44.6 4.0	58.6 4.0
(対)ひとめぼれ	出穂期		7/30	8/10	8/9	8/12	7/30	8/12	8/7	8/3
	成熟期		9/9	9/16	9/21	9/26	9/8	9/27	9/16	9/12
	収量(kg/a) 品質		58.0 3.5	47.9 2.5	50.4 3.5	59.5 2.3	52.2 4.0	64.3 2.5	48.6 4.0	61.1 3.5
東北236号	出穂期			8/14				8/16		
	成熟期			9/18				10/2		
	収量(kg/a) 品質			48.5 2.0				57.4 3.0		
東北239号	出穂期					8/8		8/14	8/14	
	成熟期					9/21		9/26	10/3	
	収量(kg/a) 品質					50.4 5.0		42.0 3.0	70.2 3.5	
(対)つや姫	出穂期					8/8		8/13	8/12	
	成熟期					9/20		9/25	9/30	
	収量(kg/a) 品質					56.0 3.0		43.4 2.0	68.4 2.0	
東北238号	出穂期					8/10		8/15	8/18	
	成熟期					9/20		9/27	10/5	
	収量(kg/a) 品質					46.1 3.0		44.3 2.0	60.3 3.0	
東北胚232号	出穂期			8/8	8/10	8/12				
	成熟期			9/17	9/21	9/26				
	収量(kg/a) 品質			39.5 6.0	62.7 4.0	58.7 4.0				
(対)金のいぶき	出穂期			8/12	8/13	8/16				
	成熟期			9/21	9/26	9/30				
	収量(kg/a) 品質			34.2 5.0	54.2 3.5	43.5 4.1				

注)品質は、上上～下下を1.0～9.0で示した。

表7 令和4年度水稲優良品種決定現地調査成績概要(概評及び有望度)

供試系統	対照品種	試験地(担当普及センター)	評価	総合判定	概評(収量・品質を中心に要約)
東北237号	やまのしずく	七ヶ宿(大河原)	×	×	品質劣る。
東北233号	ひとめぼれ	高清水(栗原)	○	×	千粒重はやや大きく、精玄米重比率は121%と大きい。品質面では青米や乳白が少なく、総合的に優る。
		亘理(亘理)	△		収量は上回ったが、白未熟粒多く、外観品質は同等。
福島64号	ひとめぼれ	泉(仙台)	×	△	収量が97%。外観品質は並かやや良。収量性が低いことから調査打ち切り。
		中田(登米)	△		収量がやや劣るが、倒伏・病害虫が優るため、施肥量を見直し継続検討。
山形151号	ひとめぼれ	高清水(栗原)	△	×	千粒重、精玄米重ともかなり大きい(千粒重比110%、精玄米重比133%)。耐倒伏性は強い。青米が多く、年次変動を見る必要があると考えられるため、継続検討。
		気仙沼(気仙沼)	△		収量はやや少ないが、その程度は小さく、栽培上の問題は特にないこと、当地域では供試1年目であることから、継続検討。
岩手146号	ひとめぼれ	泉(仙台)	△	×	収量が高い。外観品質は並かやや良。供試1年目であることから継続検討。
		気仙沼(気仙沼)	○		収量は対照を上回り、熟期も同等であることから、有望。
東北235号	ひとめぼれ	泉(仙台)	×		収量が94%。外観品質は並。要望の多いCd低吸収性の系統ではあるが、収量が低く、他に供試1年目のCd低吸収性系統もあるため、調査打ち切り。
		小野田(大崎)	×		収量は劣った。玄米外観品質はやや良かった。
		高清水(栗原)	△		精玄米重比率は同程度の106%で、千粒重はやや大きい。品質は、青米の多さが目立った。本年は出穂期が大きくずれたが、収量、品質は大きな差は見られなかった。
		中田(登米)	△	△	収量がやや優るが、倒伏が劣るため、継続検討。
		角田(大河原)	×	△	収量性及び品質劣る。
東北236号	ひとめぼれ	気仙沼(気仙沼)	△	△	Cd低吸収性を有することから、優良品種として有望であると考えられる。一方、生育ステージは遅く、収量は対照よりかなり少ないため、継続検討が必要。
		小野田(大崎)	○		出穂期で4日、成熟期で2日遅かった。収量は同程度、玄米外観品質はやや良かった。
		角田(大河原)	×		収量性及び品質劣る。
東北239号	つや姫	亘理(亘理)	△	△	千粒重が大きいものの収量性がやや劣る。外観品質はつや姫にやや劣る。
		矢本(石巻)	△		稈長は長い。倒伏が起こりやすい傾向があり。精玄米重はやや多い。やや大粒ではあるが、腹白・青死米が多い。低アミノ酸米のためかわずかに白濁。良好な気象条件での再検討が必要。
		角田(大河原)	×		品質は対照品種並だが収量性劣る。
東北238号	つや姫	亘理(亘理)	○		収量・品質ともに同等。
		矢本(石巻)	△	△	稈長は長い。倒伏が起こりやすい傾向があり。精玄米重は少ない。やや大粒ではあるが、生青米が多い印象あり(外観品質には問題なし)。良好な気象条件での再検討が必要。
東北胚232号	金のいぶき	小野田(大崎)	○		収量は、「金のいぶき」に穂いもちが発生したこともあり16%多かった。玄米外観品質は腹白多くやや劣った。
		高清水(栗原)	△	△	精玄米重比率は116%であるが、千粒重はやや小さい。品質は、やや青米が少ない一方、腹白が多かった。
		中田(登米)	△		収量が優るが、倒伏・病害虫が劣るため、施肥量を見直し継続検討。

注)評価のランク ○: 有望 ○: やや有望 △: 継続調査 ×: 調査打ち切り

令和4年度主要農作物品種審査会

水 稻 審 議 事 項

令和5年2月

宮城県

令和5年度優良品種決定調査に供する品種(稲)について(案)

1 優良品種として要望される品種(育種の方向性)(水稻)

気候変動に対応し、いもち病等の病害虫に強く、高温登熟性・耐冷性・耐倒伏性に優れた以下の特性を有する品種

イ 既存の優良品種を上回る特性を持ち、主力となりうる品種

(イ) 極良質・極良食味で他県の銘柄に対抗する品種

(ロ) 「コシヒカリ」, 「つや姫」以降の熟期で、極良質・極良食味の晩生品種

(ハ) 既存の優良品種に、生産者・消費者・実需者等のニーズに適応する望ましい特性を付与した品種

ロ 中食・外食等の業務用ニーズに対応する品種

(イ) 業務用に対応する品質・食味を持ち、収量性に優れた品種

(ロ) チルド加工適性の高い低アミロース品種

(ハ) 大量調理に適した優れた炊飯適性を持つ品種

ハ 新たな需要を創出する品種

(イ) 輸出を前提とした低コスト栽培及び収量性に極めて優れる品種

(ロ) 米粉用, 酒造用, 健康・機能性市場対応など実需者からの要望があり, 特定需要が見込まれる品種

2 供試品種及び系統

種類	早晩性	本調査	要望される品種	現地調査
うるち	早生	奥羽450号 (1) (対)やまのしずく (比)あきたこまち	ロ-(イ)	奥羽450号 (1) (対)やまのしずく
	中生	東北235号 (4) 福島64号 (2) 東北236号 (2) 岩手148号 (1) 東北241号 (1) (対)ひとめぼれ (比)まなむすめ	イ-(ハ) ロ-(イ) イ-(イ), イ-(ハ) ロ-(イ) イ-(イ)	東北235号 (4) 福島64号 (2) 東北236号 (2) 岩手148号 (1) 東北241号 (1) (対)ひとめぼれ
	晩生	東北238号 (2) 東北239号 (2) 東北242号 (1) 山形155号 (1) (対)つや姫 (比)コシヒカリ	イ-(ロ) イ-(ロ), ロ-(ロ) イ-(ロ) イ-(ロ)	東北238号 (2) 東北239号 (2) 東北242号 (1) 山形155号 (1) (対)つや姫
好酒造米	中生	福島酒67号 (1) (対)蔵の華 (比)吟のいろは	ハ-(ロ)	
巨大胚	中生	東北胚232号 (4) (対)金のいぶき (比)ひとめぼれ	イ-(ハ), ハ-(ロ)	東北胚232号 (4) (対)金のいぶき
計		12		11

注1) (対), (比)はそれぞれ対照品種, 比較品種。

注2) 本調査及び現地調査の()内の数字は供試年数。

注3) 予備調査の供試系統については, 優良品種として要望される品種に基づき適宜選定する。

令和5年度水稻優良品種決定調査供試系統の特性概要

イ) 本調査

(○：令和4年度調査結果。●：育成地評価)

(イ)うるち種 早生 (対照：やまのしずく)

系統名 (供試年数)	交配組合せ	特性の概要と調査継続理由
奥羽450号 (1)	奥羽424号 / 羽系2176	○出穂期は2日遅く、成熟期は4日遅い。 ●耐倒伏性“強”。 ●障害型耐冷性“やや強”。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型は不明。ほ場抵抗性は葉いもち、穂いもち共に“かなり強”。 ○収量は優る。 令和5年度は収量、品質、食味の年次変動の確認のため継続検討。
要望される品種 ロー(イ)		

(ロ)うるち種 中生 (対照：ひとめぼれ)

系統名 (供試年数)	交配組合せ	特性の概要と調査継続理由
東北235号 (4)	東北209号 / 東1667	○出穂期、成熟期とも3日遅い。 ●Cd低吸収性を持つ。 ●耐倒伏性“やや弱”。 ●障害型耐冷性“強”。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型はPii、ほ場抵抗性は葉いもち、穂いもち共に“強”。 ○千粒重はやや大きく、収量やや優る。 令和5年度は熟期、収量、品質、食味の年次変動について検討。
要望される品種 イー(ハ)		
福島64号 (2)	越南244号 / 郡系955	○出穂期は5日、成熟期は4日遅い。 ●耐倒伏性“やや強”。 ●障害型耐冷性“かなり強”。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型はPia、Piiで、いもち病ほ場抵抗性遺伝子Pi39を保有する。いもち病ほ場抵抗性は、葉いもち“極強”、穂いもち“中”。 ●高温登熟性が認められる。 ○千粒重はやや大きく、収量やや優る。 ○白未熟粒少なく、外観品質やや優る。 令和5年度は成熟期の確認及び栽培特性の年次変動、食味について検討。
要望される品種 ロー(イ)		
東北236号 (2)	東1667 // 東1585 / 東1594	○出穂期は4日遅く、成熟期は7日遅い。 ●Cd低吸収性を持つ。 ●耐倒伏性“やや弱”。 ●障害型耐冷性“かなり強”。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型はPiiで、いもち病ほ場抵抗性遺伝子Pb1を保有する。ほ場抵抗性は葉いもち“やや弱”、穂いもち“かなり強”。 ○収量はやや優る。外観品質がやや劣る。 令和5年度は出穂期、成熟期の確認及び栽培特性の年次変動、食味について検討。
要望される品種 イー(イ)、イー(ハ)		
岩手148号 (1)	東北224号 / 岩手124号	○出穂期、成熟期とも1日遅い。 ●耐倒伏性“やや強”。 ●障害型耐冷性“かなり強”。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型はPiiで、いもち病ほ場抵抗性遺伝子pi21を保有する。いもち病ほ場抵抗性は、葉いもち、穂いもち共に“極強”。 ○収量が優り、千粒重が大きい。外観品質は劣る。 令和5年度は出穂期、成熟期の確認及び栽培特性の年次変動、食味について検討。
要望される品種 ロー(イ)		
東北241号 (1)	東北214号 / 東北206号 //東北220号	○出穂期、成熟期とも3日遅い。 ●高温登熟性“やや強”。 ●耐倒伏性“中”。 ●障害型耐冷性“やや強～強”。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型はPiiと推定される。いもち病ほ場抵抗性遺伝子pi21、Pb1を保有する。ほ場抵抗性は葉いもち“強”、穂いもち“かなり強”。 ○収量は優る。外観品質は劣る。 令和5年度は出穂期、成熟期の確認及び栽培特性の年次変動、食味について検討。
要望される品種 イー(イ)		

(○：令和4年度調査結果。●：育成地評価)

(ハ) うるち種 晩生 (対照：つや姫)

系統名 (供試年数)	交配組合せ	特性の概要と調査継続理由
東北238号 (2)	東1542 / 古川耐冷中母111	○出穂期、成熟期とも3日遅い。 ●耐倒伏性“やや強”。 ●障害型耐冷性“強”。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型は <i>Pik, Pim</i> と推定される。ほ場抵抗性は葉いもち“やや強”、穂いもち“強”。 ○収量はやや優り、千粒重が大きい。 ○外観品質やや劣る。 令和5年度は成熟期の確認及び栽培特性の年次変動、食味について検討。
要望される品種 イ- (ロ)		
東北239号 (2)	東北225号 / 東北222号	○出穂期は3日、成熟期は4日遅い。 ●やや低アミロース(<i>Wx1-1</i> 保有)。 ●耐倒伏性“中”。 ●障害型耐冷性“かなり強”。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型は <i>Pii</i> と推定される。ほ場抵抗性は葉いもち、穂いもち共に“かなり強”。 ○収量はやや劣る。千粒重はかなり大きい。 令和5年度は晩生の低アミロース系統として出穂期、成熟期の確認及び食味について検討。
要望される品種 イ- (ロ), ロ- (ロ)		
東北242号 (1)	東北226号 / 新潟115号	○出穂期は1日、成熟期は5日遅い。 ●耐倒伏性“やや強”。 ●障害型耐冷性“強”。 ●いもち病ほ場抵抗性遺伝子 <i>Pi39, Pbl</i> を保有する。いもち病ほ場抵抗性は葉いもち、穂いもち共に“かなり強”。 ○収量は優り、千粒重が大きい。 令和5年度は出穂期、成熟期の確認及び栽培特性の年次変動、食味について検討。
要望される品種 イ- (ロ)		
山形155号 (1)	庄5408 / 山形135号	○出穂期は6日、成熟期は5日遅い。 ●耐倒伏性“やや強”。 ●障害型耐冷性“弱”。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型は <i>Pia, Pii, Pik</i> 。ほ場抵抗性は葉いもち“強”、穂いもち“極強”。 ○千粒重が大きい。外観品質が劣る。 令和5年度は出穂期、成熟期の確認及び栽培特性の年次変動、食味について検討。
要望される品種 イ- (ロ)		

(ニ) 酒造好適米 中生 (対照：蔵の華)

福島酒67号 (1)	中部酒131号 / 郡系酒733	○出穂期は3日、成熟期は4日遅い。 ●耐倒伏性“やや強”。 ●障害型耐冷性“強”。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型は <i>Pia, Pii</i> であるが、いもち病ほ場抵抗性遺伝子 <i>Pi39</i> を保有する。いもち病ほ場抵抗性は、葉いもち、穂いもち共に“強”である。 ●胴割れが少ない。 ○千粒重が大きい。心白整粒歩合が高い。 令和5年度は出穂期、成熟期の確認及び栽培特性の年次変動、品質について検討。
要望される品種 ハ- (ロ)		

(ホ) 巨大胚種 中生 (対照：金のいぶき)

系統名 (供試年数)	交配組合せ	特性の概要と調査継続理由
東北胚232号 (4)	東北胚202号 (金のいぶき) / 東1342	○出穂期が2日早く、成熟期は5日早い。 ●耐倒伏性“弱”。 ●障害型耐冷性“やや強”。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型は <i>Pii</i> 、いもち病ほ場抵抗性遺伝子 <i>Pi35, Pi39</i> を保有する。ほ場抵抗性は、葉いもち、穂いもち共に“極強”。 ○収量が優る。千粒重が小さい。外観品質がやや劣る。 令和5年度は出穂期、成熟期の確認及び栽培特性の年次変動、食味について検討。
要望される品種 イ- (ハ), ハ- (ロ)		

(参考)各「ひとめぼれ」準同質遺伝子系統の導入遺伝子等

系統名	組み合わせ	導入遺伝子またはQTL					世代
		Cd低吸収性	耐冷性		いもち病ほ場抵抗性		
		<i>osnramp5-2</i>	<i>qLTB3</i>	<i>qCT-4</i>	<i>pi21</i>	<i>Pbl</i>	
東北235号	東北209号/東1667	○	—	—	○	—	F ₈
東北236号	東1667//東1585/東1594	○	○	—	—	○	F ₈
東北243号	17-1466/15N-174	○	○	○	○	○	F ₇

大豆 報告事項

令和4年度大豆優良品種決定調査成績

令和4年度優良品種決定調査に供した品種(大豆)について

区分	早晩性	基本調査 (供試年数)		現地調査
		予備調査	本調査	
普通	早生		東山 239 号 (2)	
	中生早	東北 194 号	東北 190 号 (1)	
	中生	(標) タンレイ		
	中生晩		東北 191 号 (2)	東北 191 号 (1)
		(標) タチナガハ		
	(比) ミヤギシロメ, すずみのり			
計		1	3	1

注1) (標): 標準品種(対照)を示す。

注2) (比): 比較品種を示す。

※優良品種決定基準については、参考資料p1参照。

※優良品種決定調査方法については、参考資料p5～p7参照。

表1 令和4年度大豆優良品種決定基本調査成績概要(本調査)

系統・品種名	調査年数 本 現 地	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	諸障害				主茎長 (cm)	最下 着莢高 (cm)	主茎 節数 (節/本)	分枝数 (本/株)	有効 莢数 (個/㎡)	子実重 (7.3mm) (kg/a)	同左 対照比 (%)	百粒重 (g)	外観 品質 (1-7)	障害粒					子実成分				概評 (対照品種との比較)	
				倒伏 程度 (0-4)	蔓化 程度 (0-4)	立枯 程度 (0-4)	青立 程度 (0-4)										紫斑 (0-5)	褐斑 (0-5)	裂皮 (0-5)	しわ (0-5)	虫害 (0-5)	粗蛋 白質 (%)	粗脂肪 (%)	全糖 (%)	有望度	長所	短所
				0-4	0-4	0-4	0-4										0-5	0-5	0-5	0-5	0-5	(%)	(%)	(%)			
(早生) 東山239号	2 -	(標播) 7/29 (晩播) 8/7	10/17 10/20	0.7 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.7 0.0	76 61	22.7 23.4	14.7 12.6	9.6 7.0	689 792	40.2 42.1	170 126	33.2 33.6	4.0 4.5	0 0	0 0	0 0	0 0	0 1	45.4 47.4	20.7 19.6	19.7 19.4	◇	・収量が優る ・百粒重が標播で大きい 収量が優り、百粒重が標播で大きい ため再検討。 年次変動の確認	
(中生の早) 東北190号	1 -	(標播) 7/29 (晩播) 8/7	10/12 10/18	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1.0 0.5	49 53	13.3 15.3	13.1 13.5	7.4 5.2	584 639	25.6 34.1	108 102	31.9 36.9	4.0 5.0	0 0	0 0	1 0	3 1	0 0	40.9 42.8	22.1 21.2	20.8 20.9	△	・標播で収量が優る ・百粒重が大きい 最下着莢高が低い が標播で収量が優り、百粒重が大きい ため再検討。 年次変動の確認	
(対)タンレイ	- -	(標播) 7/31 (晩播) 8/9	10/12 10/23	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1.0 0.5	59 47	19.0 18.9	14.2 12.0	5.8 3.9	602 562	23.7 33.5	100 100	28.8 33.0	4.0 4.5	0 0	0 0	1 0	1 0	0 0	42.6 45.0	21.0 19.9	20.9 21.0			
(中生の晩) 東北191号	2 1	(標播) 7/29 (晩播) 8/7	10/20 11/5	1.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.7 1.0	72 70	18.9 26.6	14.4 13.4	6.8 5.2	564 448	36.6 34.2	161 130	38.1 41.8	4.3 4.5	0 0	0 0	1 0	1 0	0 0	44.4 45.4	21.0 20.2	20.4 21.5	◇	・収量が優る ・百粒重が大きい 収量が優り、百粒重が大きい ため再検討 年次変動の確認	
(対)タチナガハ	- -	(標播) 7/31 (晩播) 8/9	10/26 10/30	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1.0 1.0	65 55	20.7 23.7	15.1 13.1	4.9 3.7	428 413	22.7 26.4	100 100	36.5 36.8	4.3 5.0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	40.5 42.7	21.9 20.6	21.5 21.3			
(比)ミヤギシロメ	- -	(標播) 8/7 (晩播) 8/13	11/5 11/6	2.7 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1.0 1.0	92 69	24.5 29.0	17.0 14.6	8.3 4.2	470 500	34.8 36.9	153 140	42.2 40.5	4.0 4.0	0 0	0 0	1 0	0 1	0 1	40.5 42.5	19.9 19.0	24.2 24.1			
(比)すずみのり	- -	(標播) 7/31 (晩播) 8/7	10/19 10/30	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.7 1.0	64 69	23.2 31.9	13.6 13.9	6.3 3.6	489 494	31.1 29.8	137 113	34.7 37.0	4.0 4.0	0 0	0 0	0 0	0 1	0 0	42.7 46.0	21.0 19.7	21.9 21.0			

表2 令和4年度大豆優良品種決定基本調査成績概要(予備調査)

系統・品種名	調査年数 本 現 地	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	諸障害				主茎長 (cm)	最下 着莢高 (cm)	主茎 節数 (節/本)	分枝数 (本/株)	有効 莢数 (個/㎡)	子実重 (7.3mm) (kg/a)	同左 対照比 (%)	百粒重 (g)	外観 品質	障害粒					子実成分				概評 (対照品種との比較)	
				倒伏 程度 (0-4)	蔓化 程度 (0-4)	立枯 程度 (0-4)	青立 程度 (0-4)										紫斑 (0-5)	褐斑 (0-5)	裂皮 (0-5)	しわ (0-5)	虫害 (0-5)	粗蛋 白質 (%)	粗脂肪 (%)	全糖 (%)	有望度	長所	短所
				0-4	0-4	0-4	0-4										0-5	0-5	0-5	0-5	0-5	(%)	(%)	(%)			
(中生の早) 東北194号	- -	(標播) 7/29 (晩播) 8/7	10/13 10/21	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.5 0.5	47 46	11.6 14.4	13.3 12.7	4.9 2.6	818 728	13.5 21.6	57 64	26.2 28.1	3.0 4.0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	41.6 42.8	21.2 20.5	20.0 21.4	×	・外観品質が優る ・最下着莢高が低い ・収量が劣る 最下着莢高が低く、収量が劣り、百粒重が小さい ので打ち切り	
(対)タンレイ	- -	(標播) 7/31 (晩播) 8/9	10/12 10/23	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1.0 0.5	59 47	19.0 18.9	14.2 12.0	5.8 3.9	602 562	23.7 33.5	100 100	28.8 33.0	4.0 4.5	0 0	0 0	1 0	1 0	0 0	42.6 45.0	21.0 19.9	20.9 21.0			

注1) 栽培特性は育成地における評価。収量、品質は令和3年度における場内試験結果。

注2) 栽培特性中の[]は交配組み合わせまたはDNAマーカーから推定される抵抗性を示す。

注3) 諸障害の発生程度は、無:0,少:1,中:2,多:3,甚:4を示す。

注4) 品質は、上の上:1,上の中:2,上の下:3,中の上:4,中の中:5,中の下:6,下:7を示す。

注5) 粗蛋白質含有率は、東北農業研究センターにおける近赤外分光分析法(全粒大豆)による無水分中の含有率。窒素蛋白質換算係数は6.25。

注6) 評価の凡例 ◎:有望 ○:やや有望 ◇:再検討 △:やや劣る ×:劣る

<耕種概要>

	標 播	晩 播	標播・晩播共通	
播種期	5月25日	6月24日	土改剤	粒状苦土石灰(5kg/a)
区制	本調査3区,予備調査2区	2区	基肥	高度化成550(大豆専用) N:P:K=0.2:0.6:0.8(kg/a)
栽植密度	13.3本/㎡	26.7本/㎡		クルサー-MAXX 5月17日 種子処理
畦間	75cm	75cm		フレハ ソンプロアブル5 8月18日 トロン散布
株間	20cm	10cm		アミスター20プロアブル " "
除草剤	エコトップP乳剤(播種後) 5月25日	エコトップP乳剤(播種後) 6月24日	病虫害防除	スタークル液剤10 9月13日 "
中耕	7月1日	7月27日		ブランドム乳剤25 " "

表3 令和4年度供試系統過年度調査成績(東山239号)

栽培 条件	系統名 品種名	試験 年次	播種日 (月/日)	開花期 (月/日)	成熟期 (月/日)	倒伏 程度 0-4	蔓化 程度 0-4	立枯 程度 (0-4)	青立 程度 0-4	茎長 (cm)	最下着 莢高 (cm)	主茎 節数 (節/本)	分枝数 (本/株)	有効 莢数 (個/m ²)	子実重 (kg/a)	子実重 対照比 (%)	百粒重 (g)	外観 品質	障害粒				粗タンパク 含有率 (%)	粗脂肪 含有率 (%)	全糖 含有率 (%)	有望度 (案)
																			紫斑病	褐斑粒	裂皮	しわ				
標播	東山239号	R2	5/28	8/7	10/21	0.2	0.0	2.7	0.0	66	16.8	14.5	9.8	847	26.2	119	31.0	4.2	1	0	0	0	41.7	21.9	20.6	◇
		R3	5/25	7/29	11/4	0.6	0.0	0.0	0.0	97	23.4	17.1	9.2	552	42.4	104	38.9	2.3	0	0	1	0	45.4	20.1	21.4	◇
		R4	5/25	7/29	10/17	0.7	0.0	0.0	0.7	76	22.7	14.7	9.6	689	40.2	170	33.2	4.0	0	0	0	0	45.4	20.7	19.7	◇
		平均	5/26	8/1	10/25	0.5	0.0	0.9	0.2	80	21.0	15.4	9.5	696	36.3	126	34.4	3.5	0	0	0	0	44.2	20.9	20.6	
タンレイ	東山239号	R2	5/28	8/5	11/3	0.1	0.0	3.0	1.3	60	10.3	13.2	8.2	805	22.0	100	30.4	5.5	2	0	1	0	43.8	20.6	21.7	
		R3	5/25	7/29	11/10	0.9	0.0	0.0	1.0	89	18.2	16.8	8.9	647	40.6	100	36.0	4.3	1	0	2	0	45.1	19.3	22.4	
		R4	5/25	7/31	10/12	0.0	0.0	0.0	1.0	59	19.0	14.2	5.8	602	23.7	100	28.8	4.0	0	0	1	1	42.6	21.0	20.9	
		平均	5/26	8/1	10/29	0.3	0.0	1.0	1.1	69	15.8	14.7	7.6	685	28.8	(100)	31.7	4.6	1	0	1	0	43.8	20.3	21.7	
標播	東山239号	R2	6/25	8/16	10/28	2.5	0.0	0.0	0.0	72	20.9	13.9	7.2	743	26.4	93	29.7	4.8	1	0	0	0	45.8	20.0	21.6	
		R3	6/25	8/9	11/3	0.0	0.0	0.0	0.0	87	31.9	12.9	6.0	658	40.3	103	35.3	1.8	0	0	0	0	46.2	19.7	21.5	
		R4	6/24	8/7	10/20	0.0	0.0	0.0	0.0	61	23.4	12.6	7.0	792	42.1	126	33.6	4.5	0	0	0	0	47.4	19.6	19.4	
		平均	6/25	8/11	10/28	0.8	0.0	0.0	0.0	73	25.4	13.1	6.7	731	36.3	108	32.9	3.7	0	0	0	0	46.5	19.8	20.8	
タンレイ	東山239号	R2	6/25	8/14	11/3	0.5	0.0	0.0	0.0	72	17.8	13.1	5.0	909	28.4	100	28.0	4.8	1	0	1	0	44.5	19.9	21.8	
		R3	6/25	8/9	11/8	0.8	0.0	0.0	0.0	88	20.0	13.6	4.1	745	39.1	100	32.7	4.5	2	0	0	0	46.1	19.0	22.3	
		R4	6/24	8/9	10/23	0.0	0.0	0.0	0.5	47	18.9	12.0	3.9	562	33.5	100	33.0	4.5	0	0	0	0	45.0	19.9	21.0	
		平均	6/25	8/11	11/1	0.4	0.0	0.0	0.2	69	18.9	12.9	4.3	739	33.7	(100)	31.2	4.6	1	0	0	0	45.2	19.6	21.7	

表4 令和4年度供試系統過年度調査成績(東北190号)

栽培 条件	系統名 品種名	試験 年次	播種日 (月/日)	開花期 (月/日)	成熟期 (月/日)	倒伏 程度 0-4	蔓化 程度 0-4	立枯 程度 (0-4)	青立 程度 0-4	茎長 (cm)	最下着 莢高 (cm)	主茎 節数 (節/本)	分枝数 (本/株)	有効 莢数 (個/m ²)	子実重 (kg/a)	子実重 対照比 (%)	百粒重 (g)	外観 品質	障害粒				粗タンパク 含有率 (%)	粗脂肪 含有率 (%)	全糖 含有率 (%)	有望度 (案)	
																			紫斑病	褐斑粒	裂皮	しわ					
標播	東北190号	R3	5/25	7/28	10/29	0.0	0.0	0.0	0.0	63	10.5	15.4	12.3	708	55.3	136	40.6	2.3	1	0	2	1	43.7	20.6	21.9	◇	
		R4	5/25	7/29	10/12	0.0	0.0	0.0	1.0	49	13.3	13.1	7.4	584	25.6	108	31.9	4.0	0	0	1	3	40.9	22.1	20.8	△	
		平均	5/25	7/29	10/21	0.0	0.0	0.0	0.5	56	11.9	14.3	9.9	646	40.5	126	36.3	3.2	1	0	2	2	42.3	21.4	21.4		
		タンレイ	R3	5/25	7/29	11/10	0.9	0.0	0.0	1.0	89	18.2	16.8	8.9	647	40.6	100	36.0	4.3	1	0	2	0	45.1	19.3	22.4	
タンレイ	東北190号	R4	5/25	7/31	10/12	0.0	0.0	0.0	1.0	59	19.0	14.2	5.8	602	23.7	100	28.8	4.0	0	0	1	1	42.6	21.0	20.9		
		平均	5/25	7/30	10/27	0.5	0.0	0.0	1.0	74	18.6	15.5	7.4	625	32.2	(100)	32.4	4.2	1	0	2	1	43.9	20.2	21.7		
		標播	R3	6/25	8/8	10/29	0.0	0.0	0.0	0.0	56	15.2	12.1	7.7	855	51.0	130	37.4	2.5	1	0	1	1	42.7	20.4	22.5	
		R4	6/24	8/7	10/18	0.0	0.0	0.0	0.5	53	15.3	13.5	5.2	639	34.1	102	36.9	5.0	0	0	0	1	42.8	21.2	20.9		
タンレイ	東北190号	平均	6/25	8/8	10/24	0.0	0.0	0.0	0.3	55	15.3	12.8	6.5	747	42.6	117	37.2	3.8	1	0	1	1	42.8	20.8	21.7		
		R3	6/25	8/9	11/8	0.8	0.0	0.0	0.0	88	20.0	13.6	4.1	745	39.1	100	32.7	4.5	2	0	0	0	46.1	19.0	22.3		
		R4	6/24	8/9	10/23	0.0	0.0	0.0	0.5	47	18.9	12.0	3.9	562	33.5	100	33.0	4.5	0	0	0	0	45.0	19.9	21.0		
		平均	6/25	8/9	10/31	0.4	0.0	0.0	0.3	68	19.5	12.8	4.0	654	36.3	(100)	32.9	4.5	1	0	0	0	45.6	19.5	21.7		

凡例

倒伏・蔓化・青立程度					障害粒						品質							有望度				
0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	◎	○	◇	△	×
無	微	少	中	多	無	微	少	中	多	甚	上の上	上の中	上の下	中の上	中の中	中の下	下	有望	やや有望	再検討	やや劣る	劣る

表5 令和4年度供試系統過年度調査成績(東北191号)

栽培 条件	系統名 品種名	試験 年次	播種日 (月/日)	開花期 (月/日)	成熟期 (月/日)	倒伏 程度 0-4	蔓化 程度 0-4	立枯 程度 (0-4)	青立 程度 0-4	茎長 (cm)	最下着 莢高 (cm)	主茎 節数 (節/本)	分枝数 (本/株)	有効 莢数 (個/㎡)	子実重 (kg/a)	子実重 対照比 (%)	百粒重 (g)	外観 品質	障害粒				粗タンパク 含有率 (%)	粗脂肪 含有率 (%)	全糖 含有率 (%)	有望度 (案)
																			紫斑病	褐斑粒	裂皮	しわ				
標播	東北191号	R2	5/28	8/3	11/8	2.2	0.0	4.0	1.5	57	15.3	12.3	10.8	441	23.2	105	34.9	5.5	1	0	1	1	42.6	21.4	21.5	◇
		R3	5/25	7/28	11/17	0.3	0.0	0.5	1.0	83	11.3	15.2	10.4	706	52.8	130	42.2	2.7	1	0	1	0	46.3	19.6	21.8	◇
		R4	5/25	7/29	10/20	1.0	0.0	0.0	0.7	72	18.9	14.4	6.8	564	36.6	161	38.1	4.3	0	0	1	1	44.4	21.0	20.4	◇
		平均	5/26	7/31	11/5	1.2	0.0	1.5	1.1	71	15.2	14.0	9.3	570	37.5	132	38.4	4.2	1	0	1	1	44.4	20.7	21.2	
タチナガハ	東北191号	R2	5/28	8/5	11/11	1.0	0.0	2.8	2.0	73	19.5	14.4	8.9	607	22.1	100	33.6	5.1	1	0	1	1	41.5	21.6	21.6	
		R3	5/25	7/30	11/20	0.8	0.0	0.0	1.0	93	23.3	17.0	8.7	502	40.6	100	45.7	1.8	1	0	1	0	43.9	19.8	23.2	
		R4	5/25	7/31	10/26	0.0	0.0	0.0	0.0	65	20.7	15.1	4.9	428	22.7	100	36.5	4.3	0	0	0	1	40.5	21.9	21.5	
		平均	5/26	8/2	11/9	0.6	0.0	0.9	1.0	77	21.2	15.5	7.5	512	28.5	(100)	38.6	3.7	1	0	1	1	42.0	21.1	22.1	
晩播	東北191号	R2	6/25	8/15	11/16	1.7	0.0	0.0	0.0	79	28.3	12.1	6.2	619	25.6	77	36.6	4.5	1	0	1	0	44.9	20.3	21.4	
		R3	6/25	8/9	11/12	0.8	0.0	0.0	1.0	88	25.3	14.0	4.3	739	51.7	92	40.7	1.3	0	0	1	0	45.8	19.8	22.2	
		R4	6/24	8/7	11/5	0.0	0.0	0.0	1.0	70	26.6	13.4	5.2	448	34.2	130	41.8	4.5	0	0	0	1	45.4	20.2	21.5	
		平均	6/25	8/11	11/11	0.8	0.0	0.0	0.7	79	26.7	13.2	5.2	602	37.2	96	39.7	3.4	0	0	1	0	45.4	20.1	21.7	
タチナガハ	東北191号	R2	6/25	8/15	11/12	1.9	0.0	0.0	0.5	86	25.5	13.6	6.5	769	33.1	100	33.3	4.5	1	0	0	0	42.8	20.3	22.4	
		R3	6/25	8/9	11/18	0.8	0.0	0.0	1.0	82	20.0	14.9	5.7	893	56.2	100	44.4	5.0	0	0	0	0	44.8	19.1	23.3	
		R4	6/24	8/9	10/30	0.0	0.0	0.0	1.0	55	23.7	13.1	3.7	413	26.4	100	36.8	5.0	0	0	0	0	42.7	20.6	21.3	
		平均	6/25	8/11	11/10	0.9	0.0	0.0	0.8	74	23.1	13.9	5.3	692	38.6	(100)	38.2	4.8	0	0	0	0	43.4	20.0	22.3	

凡例

倒伏・蔓化・青立程度				
0	1	2	3	4
無	微	少	中	多

障害粒					
0	1	2	3	4	5
無	微	少	中	多	甚

品質						
1	2	3	4	5	6	7
上の上	上の中	上の下	中の上	中の中	中の下	下

有望度				
◎	○	◇	△	×
有望	やや有望	再検討	やや劣る	劣る

令和4年度 大豆優良品種決定調査 現地調査成績 (登米普及センター)

1 気象経過及び生育経過の概要

<気象経過>

(6月) 上旬は雨天が続き、気温は低くなりました。降水量は平年の272%と多くなり、特に15日頃は、高温多照で推移しました。東北南部の梅雨入りは平年より3日遅い6月15日頃でした。

(7月)

気温は平年より高く推移しました。15日から16日にかけて大雨となり、特に15日は154mmの降雨があり、浸水や冠水の被害が発生した地域がありました。

(8月)

上旬と中旬の気温は平年より高くなりましたが、下旬は雨天が続き、平均気温が低く推移しました。日照時間は平年の72%となりました。

(9月)

平均気温は概ね平年並みから高く推移しました。日照時間は平年の88%、降水量は平年の75%でした。

(10月)

平均気温、日照時間はおおむね平年並みで推移しました。降水量は平年の41%となりました。

(11月)

平均気温は平年並みから高く、日照時間は平年より多く推移しました。降水量は上旬・下旬は平年より少なく、下旬は23日に50mmの降雨がありました。

<生育経過>

(播種・出芽期)

播種以降順調に生育、出芽期は6月20日。出芽後の生育は概ね良好。

(生育・開花期)

7月中旬・下旬の降雨により、ほ場が一時浸水し、生育が停滞したがその後回復しおおむね順調に生育。開花期は両品種とも8月4日。

(子実肥大・成熟期)

子実肥大～成熟期は、適度な降雨と日照に恵まれ、順調に生育。成熟期は両品種とも11月5日。

2 障害の種類と概況(病害虫、自然災害等発生状況等)

7月の降雨による浸水の影響は概ね回復。雑草は体科雑草や好類が散見された。

3 その他特記事項

なお、ダイズシストセンチュウに対する抵抗性は判然としなかった。

4 耕種概要

試験地：登米市豊里町 担当農家：(農専) TMファーマーズ

前作：大豆	播種様式：手播き	1株当たり本数：2	本/株
条間：70.0 cm	株間：20.0 cm	栽植密度：14.3	本/m ²

土作り資材 (kg/a)：なし

資材名	施用量	資材名	施用量
牛推肥	200		
タイニー	20		

基肥・追肥 (成分量, kg/a)：

月/日	肥料名	N	P	K
6/16	大豆-発君	0.25	0.07	0.07
追肥				

中耕培土 (実施月日)

1回目	7/12	2回目	7/29	3回目
-----	------	-----	------	-----

除草剤：

月/日	薬剤名	月/日	薬剤名
6/16	プロールプラス		

病害虫防除：

月/日	薬剤名	月/日	薬剤名
8/23	アミスターフロアブル	9/1	アデオン乳剤
8/23	プレバソフロアブル	9/9	スミチオン乳剤
9/1	プランダム乳剤		

5 調査結果概要 (観察調査)

品種または系統	播種期 月/日	出芽 良否	開花期 月/日	成熟期 月/日	蔓化 0-4	倒伏 0-4	青立 0-4	病害虫発生程度 (立毛)	
								べと病 0-4	葉焼病 0-4
東北191号	6/14	6/20	良	8/4	11/5	0	0	0	0
タチナガハ	6/14	6/20	良	8/4	11/5	0	0	0	0

注1) 出芽良否 良：出芽率80%以上 中：出芽率50~80% 不良：50%以下

注2) 蔓化・倒伏・青立ち・病害虫 0：無 1：少 2：中 3：多 4：甚

6 調査結果概要 (生育調査・収量調査・品質調査)

品種または系統	主莖長 cm	最下 着莢 高 cm	主莖 節数 節/本	分枝数 本/本	有効 莢数 英/m ²	a当たり収量		子実量比率 % タチナガハ	百粒重 g	被害粒				外観 品質 1-7			
						全量 kg/a	子実量 kg/a			紫斑 %	褐斑 %	裂皮 %	虫害 %		英ずれ %	しわ %	腐敗 %
東北191号	49.4	5.5	12.9	2.7	440	62.0	32.8	104	33.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
タチナガハ	45.0	9.7	13.8	2.6	440	52.0	31.5	100	32.7	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8

注3) 外観品質 1：上上 2：上中 3：上中 4：中上 5：中中 6：中下 7：下

注4) 被害粒のうち、必須調査項目

7 供試品種または系統の概評

品種または系統名	有望度	概評 (できるだけ詳しく記載してください。)
東北191号	◇	タチナガハとほぼ酷似。最下着莢高が5.5cmと低く、タチナガハより劣るが、初年目のため再検討。 なお、ダイズシストセンチュウに対する抵抗性は判然としなかった。

※) 有望度 ◎：ごく有望 ○：有望 ◇：中または再検討 △：やや劣る ×：劣る

令和4年度主要農作物品種審査会

大豆 審議事項

令和5年2月

宮城県

令和5年度優良品種決定調査に供する品種(大豆)について(案)

1 優良品種として要望される品種(大豆)

良質多収で機械による収穫適性及びタンパク含量が高く，加工適性に優れた以下の特性を有する品種。

- イ 晩播栽培に適する品種。
- ロ ダイズシストセンチュウ抵抗性が強い品種。
- ハ 「タンレイ」より紫斑病抵抗性が強い品種。

2 供試品種及び系統

区分	早晩性	本調査	要望される品種	現地調査
普通	中生	東山239号 (3)	ハ	
		リョウユウ(東北190号) (2) (標) タンレイ	ロ	
	中生晩	東北191号 (3) (標) タチナガハ (比) ミヤギシロメ	ロ	東北191号 (2) (標) タチナガハ (比) ミヤギシロメ
計		3		1

注1) (標), (比)はそれぞれ対照品種, 比較品種

注2) 本調査及び現地調査の()内の数値は供試年数。

注3) 予備調査の供試系統については, 優良品種として要望される品種に基づき適宜選定する。

令和5年度大豆優良品種決定調査供試系統の特性概要

- 熟期，収量，品質は令和4年度調査結果
● その他の項目：育成地の評価

系統名	供試年数	要望される品種	交配組合せ	特性の概要
東山239号	3	ハ	東山213号 (シュウレイ) / 東山212号	<ul style="list-style-type: none"> ○ 収量が優る。 ○ 百粒重が大きい。 ● SMV抵抗性強(A-D), SCN抵抗性中。 <p>令和5年度は栽培特性の年次変動, 加工適性について検討。</p>
東北191号	3	ロ	里のほほえみ / ふくいぶき	<ul style="list-style-type: none"> ○ 収量が優る。 ○ 百粒重が大きい。 ● SMV抵抗性強(A-D), SCN抵抗性“強”。 ● 難裂莢性を有する。 <p>令和5年度は収量性, 加工適性および現地でのSCN抵抗性について検討。</p>
リョウユウ (東北190号)	2	ロ	おおすず / 刈交1908F ₁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 晩播で収量が優る。 ○ 百粒重が大きい。 ● SMV抵抗性“強”(A-D)。 ● SCN抵抗性“極強”。 ● PSV抵抗性を保有する。 <p>令和5年度は栽培特性の年次変動と加工適性について検討。</p>

注) SMV:ダイズモザイクウイルス 大豆に感染するウイルス病の一種。A~Eの5つの系統がある。

SCN:ダイズシストセンチュウ 大豆を加害するセンチュウの一種。

PSV:ラッカセイおい化ウイルス

参 考 資 料

目 次

I	宮城県優良品種決定基準	1
II	宮城県主要農作物優良品種区分基準	2
III	宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について	3
IV	宮城県主要農作物の基幹品種，特定品種の区分	4
V	優良品種決定調査の方法 (宮城県主要農作物優良品種決定調査要領(令和2年4月1日施行))	5
VI	宮城県優良品種決定調査方法	6
VII	主要農作物種子条例	8
VIII	主要農作物品種審査会構成員名簿	10
IX	優良品種特性表(水稻)	11
X	優良品種特性表(大豆)	12
X I	優良品種特性表(麦類)	13
X II	水稻優良品種の年次別作付面積	14
X III	大豆優良品種の年次別作付面積	15
X IV	麦類優良品種の年次別作付面積	16

I 宮城県優良品種決定基準

(令和2年9月18日決定)

1 優良品種の採用基準

知事は、優良品種に採用する場合には、おおむね次の基準のいずれかを満たしている品種のうち、普及上特に支障となる欠点のないものの中から選択するものとする。

(1) 収量，病虫害抵抗性，品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性を総合的に勘案し，既存の優良品種（以下「対照品種」という。）と比較して明らかに優れていると認められること。ただし，優良品種に採用しようとする品種が，普及対象地域の範囲又は生産物の用途について制限のある場合を妨げない。

(2) 収量，病虫害抵抗性，品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性のいずれかについて，対照品種と比較して明らかに優れていると認められること。

2 優良品種の廃止基準

知事は、優良品種採用後次のいずれかに該当すると認められるときは、当該優良品種を廃止することができる。

(1) 優良品種の特性が変化し，1の基準を満たさなくなった場合

(2) 普及対象地域で栽培上重要とされる特性又は生産物の利用上重要される特性に関し，重大な欠点が明らかになった場合

(3) 当該品種に係る作付面積が著しく減少し，今後とも増加の見通しがない場合

(4) 新たな優良品種によって代替が可能である場合

(5) 当該品種の種子の供給が困難となった場合

II 宮城県主要農作物優良品種区分基準

(令和2年9月18日決定)

(目的)

- 1 本県が推奨する主要農作物品種(水稻・麦類・大豆)を基幹品種及び特定品種の2区分とし、適地適品種の作付を推進する。

(名称区分)

- 2 優良品種は次の名称に区分する。

(1) 基幹品種

生産・流通対策上、基幹となる品種

(2) 特定品種

基幹品種を補完する品種

(区分基準)

- 3 品種の構成は、基幹品種を熟期別に設定し、さらに、これを補完する特定品種を配することとする。

採用については、「宮城県優良品種決定基準」(令和2年9月18日決定)

「優良品種の採用基準」1に定めるもののほか、下記の項目に照らし総合的に勘案して決定する。

(1) 基幹品種

生産、流通対策上、基幹となる品種として生産振興を図る必要のある品種

(2) 特定品種

ア 特定の気象・土壌条件に栽培が適している品種

イ 特定の用途に対し、一定量の需要が見込まれる品種

ウ 作業体系及び各種危険分散の要求を満たす品種

エ 生産者並びに消費者ニーズ等が特に強い品種

オ 暫定的に普及が望まれる品種

Ⅲ 宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について(内規)

(令和2年9月18日決定)

主要農作物(水稲・麦類・大豆)基幹・特定品種の採用・廃止については「宮城県優良品種決定基準」及び「宮城県主要農作物優良品種区分基準」に定めるもののほか、以下により行うものとする。

1 すでに普及している品種(県優良品種以外のもの)の取り扱いについて

過去3ヶ年、概ね下記面積を超えて安定的に栽培されている品種については、優良品種決定調査に供試することを検討する。

なお、これまで優良品種決定調査に参考品種等として供試し、特性が明らかになっている品種については、既存データを活用し、検討することができるものとする。

水 稲	麦 類	大 豆
200ha	100ha	100ha

2 基幹・特定品種の移行について

(1) 特定品種から基幹品種への移行について

特定品種のうち、下記面積を上回り、生産・流通対策上、特に必要とされるものについては、基幹品種への移行を検討する。

(2) 基幹品種から特定品種への移行について

基幹品種に採用されてから3年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、特定品種への移行を検討する。

作物名	面積	備 考
水 稲	200ha	類別区分の指定基準数量1,000tによる
麦 類	200ha	銘柄区分Ⅱの基準数量500t以上による
大 豆	300ha	1銘柄販売ロット500t以上

3 基幹・特定品種の廃止について

基幹・特定品種に採用されてから3年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、廃止を検討する。

水 稲	麦 類	大 豆
100ha	50ha	50ha

4 その他

上記以外に必要な事項については、主要農作物品種審査会において検討を行うものとする。

IV 宮城県主要農作物の基幹品種、特定品種の区分

1 水稲

	基幹品種	特定品種
早 生	やまのしずく	ゆきむすび(低アミロース米)
中 生	ひとめぼれ, ササニシキ, まなむすめ, だて正夢	トヨニシキ, げんきまる, 東北194号, 金のいぶき
晩 生	—	コシヒカリ, つや姫
も ち	みやこがねもち	ヒメノモチ, こもちまる
特 殊 用途米	蔵の華(酒造好適米)	たきたて(低アミロース米)

2 麦類

(1) 小 麦

	基幹品種	特定品種
中 生	シラネコムギ, 夏黄金	あおばの恋

(2) 大 麦

	基幹品種	特定品種
早 生	シュンライ	ホワイトファイバー
中 生	ミノリムギ	—

3 大豆

	基幹品種	特定品種
中 生	タンレイ, あやこがね	すずほのか, タチナガハ, きぬさやか
晩 生	ミヤギシロメ	—

V 優良品種決定調査の方法

(宮城県主要農作物優良品種決定調査要領(令和2年4月1日施行))

1 調査対象品種

(1) 優良品種決定調査(以下「調査」という。)の対象となる品種は、次のすべての要件を満たすものの中から主要農作物品種審査会の調査審議を経て決定するものとする。

ア 調査に支障のない程度に品種の固定が進んでいること。

イ 調査に必要な種子が十分に供給されること。

ウ 県が定めた病虫害抵抗性その他の主要な特性について、検定により明らかにされていること。

エ 県の既存の優良品種との比較栽培試験等により、改善された点が認められること。

(2) (1)の品種の育成者は、調査を受けようとする品種について、(1)のアからエまでの事項に関する資料を添えて県に次に掲げる期日までに申請を行うものとする。ただし、あらかじめ県と協議して別の期日を設けた場合には、この限りではない。

稲及び大豆 12月末日

麦類 7月末日

2 調査の期間

(1) 調査の期間は、原則として3年とする。ただし、3年未満の調査であっても他の都道府県その他の機関の調査結果から調査対象品種の特性が明らかかな場合又は県が必要と認める場合には、この期間を短縮することができる。

(2) 基本調査は、調査対象品種の特性を明らかにするため、第1年目に予備調査、第2年目以降に本調査を行う。ただし、当該品種の特性が明らかかな場合又は県が必要と認める場合には、予備調査を省略することができる。

(3) 現地調査は、基本調査の予備調査が終了してから行う。

3 調査に用いる品種

調査には、次の品種を含めなければならない。

(1) 標準品種

原則として生産・流通対策上基幹となる優良品種として県内に普及しており、調査対象品種の比較対象の基準となる品種

(2) 比較品種

特定の形質を比較するための品種

VI 宮城県優良品種決定調査方法

(令和2年9月18日決定)

- 1 品種の育成者が優良品種決定調査を受けようとする品種について、検定により明らかにしておくべき特性

農作物 の種類	特性の項目
稲	出穂期, 成熟期, 稈長, 穂長, 精玄米重, 玄米千粒重, 品質, 食味, 病虫害抵抗性(葉いもち, 穂いもち, 紋枯病等), 障害抵抗性(耐冷性, 高温登熟 耐性, 耐倒伏性, 穂発芽性等), 実需者の評価
麦 類	出穂期, 成熟期, 播性程度, 稈長, 穂長, 子実重, 容積重, 千粒重, 品質, 穂発芽性, 加工適正(製粉性, 粉色, 精麦白度等), 病虫害抵抗性(赤さび病, うどんこ病, 赤かび病), 障害抵抗性(耐倒伏性, 耐寒雪性), 実需者の評価
大 豆	開花期, 成熟期, 主茎長, 分枝数, 子実重, 有粒重, 種皮色, 光沢, 品質, 病虫害抵抗性(ウイルス病, 立枯性病害, 紫斑病, センチュウ), 障害抵抗性(耐倒伏性, 裂皮の難易), 実需者の評価

- 2 優良品種決定調査の耕種概要の基準

調査の種類	農作物 の種類	区 制		耕種法の種類
		1区面積	区 数	
基 予 備 調 査	稲	6 m ² 以上	2区 以上	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等につ いて, 本県に最も普及している耕種様式 により調査を行う。
	麦 類	10m ² 以上		
	大 豆	12m ² 以上		
調 本 調 査	稲	6 m ² 以上	3区 以上	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等につ いて, 本県に最も普及している耕種様式 を原則として複数用いて調査を行う。
	麦 類	10m ² 以上		
	大 豆	12m ² 以上		
現 地 調 査	稲 麦 類 大 豆	20m ² 以上	2区 以上	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等につ いて, 優良品種適応地域ごとに最も普及 している耕種様式により調査を行う。

3 優良品種決定調査の調査項目の基準

調査の種類		調査の項目
基本調査	予備	<p>1 稲 播種期, 移植期(直播の場合は入水期), 出穂期, 成熟期, 発芽の良否(直播又は陸稲の場合に限る。), 稈長, 穂長, 穂数, 全重, 玄米収量, 標準品種と玄米収量の比較比率, 玄米千粒重, 玄米品質, 倒伏程度, 病害虫, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p> <p>2 麦類 播種期, 出穂期, 成熟期, 発芽の良否, 稈長, 穂長, 穂数, 子実収量, 千粒重, 子実品質, 倒伏程度, 病害虫, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p> <p>3 大豆 播種期, 開花期, 成熟期, 発芽の良否, 茎長, 分枝数, 子実収量, 百粒重, 子実品質, 倒伏程度, 病害虫, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p>
	本調査	<p>1 稲 予備調査の項目に次の項目を追加する。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 心白又は腹白の多少, 搗精歩合及び食味</p> <p>2 麦類 予備調査の項目に次の項目を追加する。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 容積重及び子実加工品の品質</p> <p>3 大豆 予備調査の項目に同じ。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 子実加工品の品質</p>
現地調査		<p>1 稲 基本調査の予備調査の項目に同じ。</p> <p>2 麦類 基本調査の予備調査の項目に同じ。</p> <p>3 大豆 基本調査の予備調査の項目から, 分枝数を除いたもの。</p>

Ⅶ 主要農作物種子条例

[令和元年宮城県条例第59号]

第三章 主要農作物品種審査会

(設置)

第十八条 知事の諮問に応じ、優良品種に関する重要事項を調査審議するため、主要農作物品種審査会（以下「審査会」という。）を置く。

(所掌事務)

第十九条 審査会は、次に掲げる事項を調査審議する。

- 一 優良品種の決定基準に関する事項
- 二 優良品種決定調査に供される品種に関する事項（当該品種に係る優良品種決定調査の継続及び中止に関することを含む。）
- 三 優良品種決定調査の方法に関する事項
- 四 優良品種の決定及び廃止に関する事項
- 五 その他優良品種に関し必要な事項

(組織等)

第二十条 審査会は、委員十人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、知事が任命する。

- 一 学識経験を有する者
- 二 関係団体の役員又は職員
- 三 関係行政機関の職員
- 四 県の職員

3 前項第一号に掲げる者のうちから任命される委員の任期は、二年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第二十一条 審査会に、会長一人及び副会長二人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、審査会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐するとともに、会長があらかじめ定めた順序により、会

長に事故があるときはその職務を代理し、会長が欠けたときはその職務を行う。

(会議)

第二十二條 審査会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

- 2 審査会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 審査会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(幹事)

第二十三條 審査会に、幹事を置き、県の職員のうちから、知事がこれを任命する。

- 2 幹事は、審査会の所掌事務について、委員を補佐する。

(会長への委任)

第二十四條 この章に定めるもののほか、審査会の運営に関し必要な事項は、会長が審査会に諮って定める。

VIII 主要農作物品種審査会構成員名簿

(令和5年1月)

役職名	氏名	所属及び職名
会長	本間 香貴	東北大学大学院農学研究科作物学研究室 教授
副会長	阿部 茂	全国農業協同組合連合会宮城県本部 米穀部長
副会長	高橋 久則	公益社団法人みやぎ農業振興公社 常務理事
委員	大川 亘	尚綱学院大学総合人間科学系理工・自然部門 准教授
〃	鳥羽 大陽	宮城大学食産業学群食資源開発学類 准教授
〃	高橋 清範	一般社団法人宮城県農業会議 副会長
〃	加藤 房子	宮城県生活協同組合連合会 常務理事
〃	大崎 早苗	宮城県農業士会 副会長
〃	小粥 恵子	仙台市経済局農業振興課 課長
〃	高澤 和寿	宮城県農政部 副部長（技術担当）
幹事	千葉 啓嗣	宮城県農政部 みやぎ米推進課長
〃	八巻 智	宮城県農政部食産業振興課 総括課長補佐
〃	長谷部 幹	宮城県農政部農業振興課 技術副参事兼総括課長補佐
〃	佐々木 都彦	宮城県古川農業試験場 作物育種部長

Ⅸ 優良品種特性表(水稻) (H30~F4)

種類	品種名	求産 (育成場所,育成年次)	区分年次	採用年次 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	穂長 (cm)	稈長 (cm)	穂数 (株/m ²)	稈数 (株/m ²)	耐病性		耐倒伏性		収量(kg/10a)	玄米千粒重(g)	精形(mm)				食味	特性概要	栽培適地	
											穂腐敗性	白葉枯	耐倒伏性	耐倒伏性			長さ	幅	厚さ	芒の長さ				芒の多少
早生	ゆまむすび	東北157号(はたしるし)×東010 (宮城県古川農試, 平19)	特定	平 19	7/28	9/10	76.7	17.2	488	偏穂数	や	難	や	強	中	728	577	5.2	2.8	2.0	少	上	上	西新丘陵地帯の標高の高い地域, 三 陸沿岸地帯の冷涼な地域, 山間高冷 地帯
	やまのしづく	中相94号(ゆまむすび)×東010 (宮城県古川農試, 平19)	基幹	平 19	7/29	9/9	77.0	17.7	483	偏穂数	や	難	や	強	や	713	589	5.1	2.9	2.0	少	上	中	西新丘陵地帯, 三陸沿岸地帯, 及び 山間高冷地帯
中生	ササニシキ	奥羽224号(ハツニシキ)×ササシグレ (宮城県古川農試, 昭38)	基幹	昭 38	8/2	9/18	82.0	17.3	539	穂数	や	難	や	弱	弱	817	821	5.0	2.8	2.0	稀	や	中	平坦地帯
	トヨニシキ	東北76号(ササニシキ)×奥羽239号 (東北農試, 昭44)	特定	昭 49	8/3	9/18	82.9	18.3	478	中間	や	難	や	弱	弱	764	593	5.0	2.8	2.0	稀	や	中	平坦地帯
うるち	東北194号	ササニシキ×ひとめぼれ (宮城県古川農試, 平成23)	特定	平 25	8/3	9/18	79.8	17.8	550	穂数	や	難	や	弱	弱	775	598	5.1	2.8	2.0	少	上	上	北部, 南新平坦地, 仙台湾沿岸, 西新 丘陵地
	ひとめぼれ	コンヒカリ×初星 (宮城県古川農試, 平3)	基幹	平 3	8/3	9/15	80.5	17.8	517	偏穂数	や	難	や	強	弱	738	582	5.1	2.8	2.0	や	中	平坦地帯	
うるち	まなむすめ	ネニシキ×東北143号(ひとめぼれ) (宮城県古川農試, 平49)	基幹	平 9	8/2	9/14	77.2	18.0	445	中間	や	難	や	弱	弱	735	587	5.2	2.9	2.0	や	中	平坦地帯及び西新丘陵地帯三陸沿 岸地帯の標高の低い地域	
	たぎたて	奥羽343号×東北153号 (宮城県古川農試, 平18)	特定	平 13	8/5	9/19	84.8	17.8	484	偏穂数	や	難	や	弱	弱	761	608	5.0	2.8	2.0	稀	上	山間高冷地を除く県下一円	
や	だて正夢	東北189号(げんきまる)×東1126 (宮城県古川農試, 平28年)	基幹	平 28	8/5	9/20	83.8	18.6	402	中間	や	難	や	弱	弱	715	580	5.1	2.6	2.0	稀	上	山間高冷地を除く県下一円	
	げんきまる	北陸188号×東北152号(まなむすめ) (宮城県古川農試, 平21)	特定	平 22	8/8	9/22	80.6	18.9	380	中間	や	難	や	弱	弱	755	610	5.2	2.9	2.0	や	中	山間高冷地を除く県下一円 (地方が高い地域)	
晩生	金のいぶき	たぎたて×北陸167号(めばえもち) (宮城県古川農試, 平28年)	特定	平 28	8/7	9/28	79.2	18.9	490	偏穂数	や	難	や	弱	弱	638	488	5.2	2.9	2.0	少	中	山間高冷地を除く県下一円	
	コンヒカリ	農林22号×農林1号 (福井農試, 昭31)	特定	平 13	8/14	9/30	95.1	18.2	452	中間	や	難	や	弱	弱	725	550	5.0	2.9	1.9	稀	上	南部平坦地帯	
早生	つや姫	山形10号×東北164号 (山形農研7ヶ年, 平21)	特定	平 21	8/12	9/30	78.9	18.8	463	中間	や	難	や	弱	弱	735	571	5.1	2.9	1.9	稀	上	南新平坦地帯を中心とした平坦地帯, 仙台湾沿岸地帯	
	ヒメノモチ	大系27号×こがねもち (東北農試, 昭47)	特定	昭 53	7/29	9/8	81.9	18.7	415	偏穂数	や	難	や	弱	弱	679	548	5.1	2.9	2.0	稀	上	山間高冷地を除く県下一円	
もち	みやこがねもち	標準23号×農林17号 (新潟農試中条試験地, 昭33)	基幹	昭 33	8/8	9/23	90.6	18.6	402	偏穂数	や	難	や	弱	弱	758	588	4.9	2.9	2.0	稀	上	山間高冷地を除く県下一円	
	や	もちもちまる	もちもち×東北161号 (宮城県古川農試, 平24)	特定	平 25	8/9	9/25	82.6	16.6	381	偏穂数	や	難	や	弱	弱	711	545	5.2	2.9	2.0	や	中	北部, 南新平坦, 西新丘陵, 仙台湾沿 岸, 三陸沿岸地帯
中生	産の華	東北140号×(山田組)×東北140号(F, 宮城県古川農試, 平6)	基幹	平 9	8/2	9/13	73.7	16.7	689	穂数	や	難	や	弱	弱	758	614	5.3	2.9	2.0	中	上	平坦地帯, 西新丘陵地帯の標高の低 い地域	

注1)調査地:水稲優良品種特定調査(古川農業試験場,大崎市) 施肥量:基肥5kg/10a, 追肥分蘖期追肥1kg/10a

注2)調査年次:平成30~令和4年

注3)本表の特性の分類は,平成27年1月に示された新たな調査基準(穂種)によるもの。

注4)収量および千粒重は, 篩目 1.8mmで測定し, 水分15%換算とした。

種	早晩性	品種名	来歴 (育成場所, 育成年次)	採用年次	優良品種区分	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	* 生 態 型	主 莖 長 (cm)	分 枝 数 (本)	* 葉 形	* 伸 育 型	* 毛 茸 有 無 及 び 色	* 花 色	* 熟 色	* 裂 莢 性	子 実										栽培適地							
																	百粒重 (g)	粒状	* 形 色	* 種 皮 色	* 種 質 色	10a 当り収量 (kg)	粗たんぱく質 (%)	粗脂肪 (%)	全糖 (%)	* 外 観 品 質		* ウ イ ル ス 病 害	* 立 枯 性 病 害	* 紫 斑 病 害	病害抵抗性	密植適応性	晩播適応性	
大豆	早生	すずほのか ^{注2}	刈交785F×コスズ (東北農研, 平19)	平20	特定	8.08	10.12	中間型	60	4.2	15.2	三角形	有限	白	紫	淡	中	9.2	球	黄	黄	307	45.1	17.6	22.3	中の上	強	や	や	強	大	大	大豆	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中生	タンレイ	農林2号×東山16号(シロムコダカ) (長野県中信農試, 昭53)	昭53	基幹	8.01	10.24	中間型	69	3.7	14.7	円	有限	白	紫	褐	中	32.3	精円	黄	黄	351	44.6	19.9	21.4	中の上	強	注6 や	や	弱	大	大	大豆	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中生	あやこがね ^{注3}	東山24号(かりん)×ニシレイ (長野県中信農試, 平11)	平11	基幹	7.27	10.21	中間型	91	4.3	16.5	円	有限	白	紫	褐	中	35.1	球	黄	黄	351	45.3	19.4	21.7	中の上	強	中	中	中	大	大	大豆	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中の晩	タチナガハ	東山61号×東山系GR27 (長野県中信農試, 昭61)	平8	特定	7.31	11.02	中間型	73	4.0	15.3	長×中間	有限	白	紫	褐	中	37.6	精円	黄	黄	383	42.6	20.7	21.8	中の上	強	中	中	中	中	中	大豆	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中の晩	きぬさやか ^{注4}	刈交508号×刈交0459F1 (東北農研, 平17)	平18	特定	7.25	10.16	中間型	76	4.9	15.2	円	有限	白	紫	中	中	28.5	球	黄	黄	391	43.4	19.3	23.2	中の上	強	や	や	強	中	中	大豆	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中の晩	すずみのり	東山199号(伊はり)×東山系 X985C(R11212号) (長野県中信農試, 平11)	令4	特定	8.01	10.28	中間型	76	4.1	15.1	三角形	有限	白	紫	褐	難	36.1	扁球	黄	黄	401	44.6	19.9	21.5	中の上	強	中	中	中	中	中	大豆	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	晩生	ミヤギシロメ	岩沼在来種の系統分離 (厚城農試, 昭36)	昭36	基幹	8.04	11.09	中間型	98	4.8	16.5	円	有限	白	紫	褐	中	44.3	や	黄	黄	396	43.1	19.1	23.8	中の上	強	小	小	小	小	小	大豆	県下平田地帯

注1) 特性表のデータは、過去5か年(平成30~令和4年)の優良(表動)品種実定調査結果の平均値。
注2) 「*」印を付した項目は「すずみのり」以外には「だいたい」種苗特性分類(農林水産省)、「すずみのり」は「だいたい」種苗特性分類(農林水産省)、「すずみのり」は「だいたい」種苗特性分類(農林水産省)、「すずみのり」は「だいたい」種苗特性分類(農林水産省)の表記に基づく。
注3) 「すずほのか」は、平成16~19年(6月下旬播きの晩播栽培)のデータ。
注4) 「あやこがね」は、平成25~29年のデータ。
注5) 「きぬさやか」は、平成27年のみのデータ。
注6) 「タンレイ」の紫斑病抵抗性は「だいたい」種苗特性分類(農林水産省)では「中」だが、県内発病程度を考慮し「やや弱」としている。

Ⅺ 優良品種特性表(麦類)

種 類	品種名	来歴 (育成場所、育成年次)	採 用 年 次	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/m ²)	穂 の 長 短	* 株 の 開 閉	* 穂 発 芽 性	* 脱 粒 性	* 秋 播 性 程 度	子 粒 重 (g)	容 積 重 (g/L)	10a 当 た り 収 量 (kg)	品質(60%粉)		外 観 品 質	耐病性						概 要			
																灰 分 (%)	粗 蛋 白 含 有 率 (%)		* さ び 病	* う ど ん こ 病	* 赤 か び 病	* 凍 上 害 抵 抗 性	* 耐 寒 性	* 耐 倒 伏 性				
小 麦	あおばの恋	(関東105号×Veery'S)'F、×西海171号 (農研七、平20)	平 20	5.2	6.17	74	433	や や 長	中	か な り 難	中	Ⅱ	41.8	825	516	0.49	9.5	85	中 の 上	* さ び 病	中	や や 弱	や や 弱	弱	—	—	中	早生、中稈で耐倒伏性は中。製粉歩留まりが高く、アミロース含量がやや低く製粉適性が優れる。
小 麦	シラネコムギ	北陸49号×東海80号 (長野農試、昭61)	平 元	5.6	6.20	79	413	中	閉	難	中	Ⅳ	41.2	830	513	0.41	11.4	83	中 の 上	* さ び 病	中	や や 強	や や 強	強	や や 強	中	強	中稈・強稈で草型も良く、耐寒性は強。穂発芽性は難。加工適性が高く、麵用粉として食用も良好である。
小 麦	重黄金	関東123号×東北214号のF1×関東123号×東北209号のF1×もち盛系C-3170a (東北農研センター、平28)	平 28	5.6	6.20	78	443	極 短	や や 開	難	中	Ⅴ	38.2	826	528	0.46	10.8	83	中 の 上	* さ び 病	中	中	中	強	強	中	強	中稈・強稈で耐倒伏性は強。凍上害抵抗性、耐寒性は強。穂発芽性は難。赤かび病抵抗性は中。製パン適性が高く、中華麵にも適する。

注1)特性表のデータは優良(奨励)品種決定調査(平成29~令和3年)*印の特性は「小麦種苗特性分類(農林水産省)」による。
注2)品質(60%粉)のデータはあおばの恋は平成16~18年、シラネコムギは平成25~28年の調査結果による。

種 類	品種名	来歴 (育成場所、育成年次)	採 用 年 次	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/m ²)	穂 の 長 短	* 株 の 開 閉	* 穂 発 芽 性	* 脱 粒 性	* 秋 播 性 程 度	子 粒 重 (g)	容 積 重 (g/L)	10a 当 た り 収 量 (kg)	品質		外 観 品 質	耐病性						概 要			
																55 % 搗 精 白 皮	硝 子 率 (%)		* さ び 病	* う ど ん こ 病	* 赤 か び 病	* 凍 上 害 抵 抗 性	* 耐 寒 性	* 耐 倒 伏 性				
大 麦	シュンライ	ミノラムギ×東山皮68号 (長野農試、平2)	平 3	4.24	6.5	90	452	や や 長	閉	易	中	I	38.6	694	589	46.3	37	中 の 上	* さ び 病	—	や や 弱	や や 弱	強	や や 強	中	強	中稈・強稈で草型も良く耐倒伏性は強。赤かび病、うどんこ病にやや弱く、耐寒性はやや強、耐雪性は中。	
大 麦	ホワイトフアイバー	東山系登47×東山皮96号 (長野農試、平27)	平 28	4.25	6.6	91	439	長	中	中	I } II	37.1	692	548	37.3	46.4	34	中 の 上	* さ び 病	—	や や 強	や や 弱	中	や や 強	強	強	中稈で耐倒伏性はやや強、耐寒性は強。もち性、耐雪性は強。	
大 麦	ミノラムギ	東山皮1号×コウゲンコムギ (長野農試、昭44)	昭 44	4.29	6.7	101	489	長	中	易	や や 易	Ⅳ } V	37.2	694	671	46.3	47.1	35	中 の 上	* さ び 病	中	強	中	強	強	強	強	多収、長稈で穂がやや開き、耐倒伏性はやや強。赤かび病は中。耐寒性・耐雪性は強。

注1)特性表のデータは優良(奨励)品種決定調査(平成29~令和3年、ただし「ホワイトフアイバー」は平成27~29年、令和2~3年)、*印の特性は「大麦種苗特性分類(農林水産省)」による。
注2)品質のデータは平成25~28年の調査結果による。

ⅩⅡ 水稻優良品種の年次別作付面積

(面積:ha)

年次 品種	平成29年産			平成30年産			令和元年産			令和2年産			令和3年産			令和4年産			
	作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		
		A	B		A	B		A	B		A	B		A	B		A	B	
うるち	やまのしずく	45	0.1%	0.1%	30	0.1%	0.1%	34	0.1%	0.1%	36	0.1%	0.1%	8	0.01%	0.014%	32	0.1%	0.1%
	ササニシキ	3,751	6.4%	6.4%	3,534	6.4%	6.2%	3,447	6.1%	5.9%	3,479	6.0%	5.9%	3,933	6.8%	6.7%	3,872	7.0%	6.8%
	ひとめぼれ	44,285	78.1%	75.5%	42,218	76.2%	73.7%	43,887	77.1%	75.0%	43,988	75.8%	74.0%	42,509	73.7%	71.9%	40,189	72.8%	71.0%
	まなむすめ	2,784	4.9%	4.7%	2,831	5.1%	4.9%	2,532	4.4%	4.3%	2,941	5.1%	4.9%	2,895	5.0%	4.9%	3,246	5.9%	5.7%
	だて正夢	—	—	—	287	0.5%	0.5%	608	1.1%	1.0%	841	1.4%	1.4%	860	1.5%	1.5%	663	1.2%	1.2%
	げんきまる	823	1.5%	1.4%	1,050	1.9%	1.8%	983	1.7%	1.7%	1,046	1.8%	1.8%	1,105	1.9%	1.9%	1,032	1.9%	1.8%
	トヨニシキ	131	0.2%	0.2%	123	0.2%	0.2%	114	0.2%	0.2%	102	0.2%	0.2%	122	0.2%	0.2%	42	0.1%	0.1%
	コシヒカリ	517	0.9%	0.9%	615	1.1%	1.1%	573	1.0%	1.0%	580	1.0%	1.0%	543	0.9%	0.9%	464	0.8%	0.8%
	つや姫	3,772	6.7%	6.4%	3,986	7.2%	7.0%	4,085	7.2%	7.0%	4,378	7.5%	7.4%	5,008	8.7%	8.5%	4,966	9.0%	8.8%
	東北194号	296	0.5%	0.5%	278	0.5%	0.5%	232	0.4%	0.4%	220	0.4%	0.4%	251	0.4%	0.4%	178	0.3%	0.3%
	蔵の華	154	0.3%	0.3%	148	0.3%	0.3%	153	0.3%	0.3%	172	0.3%	0.3%	162	0.3%	0.3%	103	0.2%	0.2%
	ゆきむすび	67	0.1%	0.1%	58	0.1%	0.1%	61	0.1%	0.1%	63	0.1%	0.1%	63	0.1%	0.1%	71	0.1%	0.1%
	たきたて	56	0.1%	0.1%	0	0.0%	0.0%	37	0.1%	0.1%	35	0.1%	0.1%	30	0.1%	0.1%	0	0.0%	0.0%
	金のいぶき	—	—	—	235	0.4%	0.4%	156	0.3%	0.3%	117	0.2%	0.2%	212	0.4%	0.4%	349	0.6%	0.6%
その他	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	
計	56,681	100%	96.6%	55,390	100%	96.7%	56,902	100%	97.2%	57,994	100%	97.6%	57,701	100%	97.6%	55,205	100%	97.6%	
もち	ヒメノモチ	65	3.3%	0.1%	49	2.6%	0.1%	53	3.2%	0.1%	22	1.5%	0.0%	30	2.1%	0.0%	18	1.3%	0.0%
	みやこがねもち	1,887	95.5%	3.2%	1,832	96.4%	3.2%	1,577	95.8%	2.7%	1,412	97.5%	2.4%	1,344	96.7%	2.3%	1,330	97.9%	2.4%
	こもちまる	23	1.2%	0.0%	20	1.0%	0.0%	16	1.0%	0.0%	15	1.0%	0.0%	16	1.2%	0.0%	11	0.8%	0.0%
	計	1,975	100%	3.4%	1,900	100%	3.3%	1,645	100%	2.8%	1,448	100%	2.4%	1,389	100%	2.4%	1,359	100%	2.4%
合計	58,656	—	100%	57,289	—	100%	58,547	—	100%	59,442	—	100%	59,090	—	100%	56,564	—	100%	

注1) 作付割合のAは、うるち及びもち種別内の作付面積割合。Bはうるち及びもち種合計の作付面積割合。

注2) 平成18年以降の作付面積は、種子供給量(公益社団法人みやぎ農業振興公社原種苗部)を面積換算(4kg/10a)した。合計面積は東北農政局統計部発表とは一致しない。

XⅢ 大豆優良品種の年次別作付面積

(面積:ha, 割合:%)

年次 品 種	平成29年産		平成30年産		令和元年産		令和2年産		令和3年産		令和4年産		
	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	
大豆	ミヤギシロメ	4,726	42.2%	4,665	43.6%	5,137	46.7%	5,076	47.0%	5,556	50.5%	5,984	50.3%
	タンレイ	2,613	23.3%	2,622	24.5%	2,640	24.0%	2,700	25.0%	2,288	20.8%	2,289	19.2%
	タチナガハ	3,293	29.4%	2,825	26.4%	2,695	24.5%	2,462	22.8%	2,607	23.7%	3,084	25.9%
	あやこがね	258	2.3%	235	2.2%	198	1.8%	199	1.8%	153	1.4%	135	1.1%
	きぬさやか	101	0.9%	96	0.9%	77	0.7%	113	1.0%	102	0.9%	107	0.9%
	すずほのか	127	1.1%	139	1.3%	110	1.0%	110	1.0%	99	0.9%	106	0.9%
	その他	78	0.7%	118	1.1%	143	1.3%	140	1.3%	195	1.8%	195	1.6%
合 計	11,200	100%	10,700	100%	11,000	100%	10,800	100%	11,000	100%	11,900	100%	

注1) 作付面積は東北農政局統計情報部資料とみやぎ米推進課で調査した品種構成比率をもとに算出。

XIV 麦類優良品種の年次別作付面積

(面積:ha, 割合:%)

年次 品 種	平成29年産			平成30年産			令和元年産			令和2年産			令和3年産			令和4年産			
	作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		
		A	B		A	B		A	B		A	B		A	B				
大麦	ミノリムギ	318	30.0%	14.1%	336	28.7%	14.8%	292	25.2%	12.8%	211	18.2%	9.3%	275	21.5%	11.5%	295	20.9%	12.3%
	シュンライ	723	68.2%	32.0%	814	69.6%	35.9%	667	57.5%	29.1%	675	58.2%	29.9%	527	41.2%	22.1%	495	35.1%	20.6%
	ホワイトファイバー	—	—	—	—	—	—	181	15.6%	7.9%	247	21.3%	10.9%	431	33.7%	18.0%	569	40.4%	23.7%
	その他	19	1.8%	0.8%	20	1.7%	0.9%	20	1.7%	0.9%	27	2.3%	1.2%	47	3.7%	2.0%	51	3.6%	2.1%
	計	1,060	100.0%	46.9%	1,170	100.0%	51.5%	1,160	100.0%	50.7%	1,160	100.0%	51.3%	1,280	100.0%	53.6%	1,410	100.0%	58.7%
小麦	シラネコムギ	700	58.3%	31.0%	613	55.7%	27.0%	728	64.4%	31.8%	603	54.8%	26.7%	582	52.4%	24.4%	476	47.9%	19.8%
	夏黄金	—	—	—	—	—	261	23.1%	11.4%	363	33.0%	16.1%	406	36.6%	17.0%	435	43.8%	18.1%	
	あおばの恋	119	9.9%	5.3%	132	12.0%	5.8%	124	11.0%	5.4%	116	10.5%	5.1%	105	9.5%	4.4%	64	6.4%	2.7%
	その他	31	2.6%	1.4%	33	3.0%	1.5%	10	0.9%	0.4%	16	1.5%	0.7%	17	1.5%	0.7%	19	1.9%	0.8%
計	1,200	100.0%	53.1%	1,100	100.0%	48.5%	1,130	100.0%	49.3%	1,100	100.0%	48.7%	1,110	100.0%	46.4%	994	100.0%	41.3%	
合 計	2,260	100%	100%	2,270	100%	100%	2,290	100%	100%	2,260	100%	100%	2,390	100%	100%	2,404	100%	100%	

注1) 作付割合のAは、大麦及び小麦別の作付面積割合。Bは大麦及び小麦合計の作付面積割合。

注2) 平成18年以降の作付面積は、統計上の作付面積から麦類の播種状況調査結果より換算。